

YAMAHA

NATURAL SOUND CD CDV LD PLAYER

CDV-2000

取扱説明書

ご使用の前に必ずお読みください。

このたびはヤマハCD CDV LDプレーヤーCDV-2000をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
CDV-2000の優れた性能を充分に発揮させるとともに、末長くご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用の前にぜひお読みくださいますよう、お願いいたします。
またお読みになったあとは、保証書とともに保管してください。



NTSC

目次

特長	1	ディスクの途中から再生するには	22
豊かなAVライフのために	2	チャプター/トラックスキップ	22
ご使用の前に	3	チャプター/トラックサーチ	22
リモコンを使う前に	4	フレームナンバーサーチ	23
ディスクについて	5	タイムナンバーサーチ	23
リアパネル各部の名称とはたらき	7	タイムサーチ	24
接続のしかた	8	トラックタイムサーチ、トータルタイムサーチ	
フロントパネル各部の名称とはたらき	11	リメインタイムサーチ	
リモコンのキーの名称とはたらき	15	インデックスサーチ	25
再生のしかた	17	繰り返して再生するには	25
再生を一時止めるには	18	演奏順を変えて再生するには	27
再生を止めるには	18	プログラム再生	27
ディスクの取り出しがた	18	エディットプログラムのしかた	28
再生を終えるときは	18	画面に変化を加えて再生するには	29
表示について	18	ピクチャーセーブ	29
ランダム再生のしかた	19	マルチスピード再生	29
ピクチャーストップについて	19	スティルウィズサウンド再生	29
早送り・早戻しについて	19	ストロボ再生	29
静止画再生	19	マルチ画面	30
コマ送り再生	19	画質変化	30
テレビ放送を見るには	19	ユーザーインデックスサーチ	31
音声や画面表示の切り換え	20	タイトル作成のしかた	33
デジタル/アナログ音声切替について	20	故障かなと思ったら	35
音声切替について	20	参考仕様	38
CX NRについて	20	ヤマハホットラインサービスネットワーク	39
画面表示について	21		
表示モードの切り換えについて	21		

応用再生

特長

本機は、映像S/N比48dB、音声S/N比116dBの高音質、高画質を基本に、数々のエンターテイメント機能に加えて、CD、CDV、LDディスクそれぞれの優れたクオリティを手軽に楽しめるように設計されたCD、CDV、LDフルコンパチブルプレーヤーです。

性能面の特長

●新開発の制振型ハウジング光ピックアップ

新開発の光ピックアップは高速応答性に優れ、不要共振の少ないPPS材ハウジングとアクチュエータを採用しています。またCDの10倍といわれる広帯域信号であるビデオ信号に対しては、受光系のコマ収差を除去した新開発光学系の採用により、ディスクの信号読み取り段階からノイズや色むら、その他の映像劣化要素を飛躍的に低減させました。

●高剛性のスタビライザー採用のメカニズム

新設計のマッシブスタビライザー搭載のスチールシャーシを採用していますので、不要振動の発生を著しく削減しました。また、ハイスピード型コンスタントディスク・チルトサーボはレーザーピックアップのディスクへの追従性を向上。安定高画質を実現しました。

●ハイビットシステム搭載

ヤマハオリジナル8倍オーバーサンプリングデジタルフィルター、ツインD/Aコンバーターのハイビットシステムを搭載していますので、パワフルでハイクオリティな音声再生を実現しました。

●デジタル出力端子を装備

オプティカルデジタル入力端子を装備したアンプなどとデジタル接続を可能にするオプティカルデジタル出力端子を装備しています。

●A/Dコンバーター内蔵

新開発のLSIを搭載していますので、ディスクのアナログ音声もデジタル信号に内部変換して出力されます。

機能面の特長

●オートスタート

ディスクをセットしてディスクトレイを閉めれば、自動的に再生が始まるオートスタート機能を採用しています。

●モニター表示とマルチディスプレイ

動作状態が一目でわかる、多彩なモニター画面表示機能とプログラムカレンダー装備のマルチディスプレイを採用。ディスク情報や動作状態が表示されますので、操作を確認しながら正確に行えます。

●多彩なサーチ機能

CLVディスクのフレームナンバーサーチ、CAVディスクのタイムナンバーサーチ、TOC付きLDディスクのインデックスサーチなど、本機は多彩なサーチ機能を装備しています。

●CLVディスクのフレームアクセス

これまで不可能とされていたCLVディスクでのフレーム単位のアクセス（サーチやコマ送りなど）ができますので、CLVディスクをCAVディスクと同じように操作することができます。

●多段階マルチスピード

シャトルリングを回しますと角度に応じた早送り、早戻しをすることができます。またジョグダイヤルを使いますと31段階の再生スピードを選択することができます。

本機はマルチスピード再生時もノイズレススキャン機能により、画面が乱れたり、縞模様が入ることはありません。

●ランダムプレイ

本機が任意に選曲をして再生するランダム再生機能があります。

●ピクチャーセーブ

ストップ時やディスクトレイを開いているときは、メッセージ画面の代わりに指定した静止画像を再生することができます。

●エディットプログラム

テープにダビングをする際、テープ片面の収録時間に合わせ、自動的にポーズが設定されます。

●ユーザーインデックス

再生するディスクの任意の19箇所まで、自由にインデックスナンバーを登録できますので、画面を呼び出すときに便利です。またユーザーインデックスを使った区間再生（ユーザーインデックスプログラム）や登録時にはエフェクトも記憶されますので、応用範囲が広がります。

●デジタルエフェクト

音声はそのままに、静止画再生をするスティルウィズサウンド、画面を分割するマルチ画面、一定間隔で静止画面を次々に再生するストロボ画面などの画面変化に加え、モザイク、ペイント、クロミナンス、ヒュー、ルミナンスの5種類の画質変化、およびこれらのエフェクトをランダムに再生するランダムエフェクトなど、数々のデジタルエフェクトを加味した画面を再生することができます。またエフェクトは、組み合わせることができます。

●タイトル作成機能

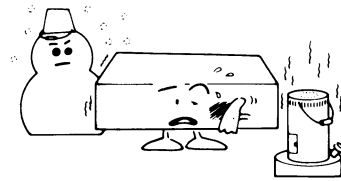
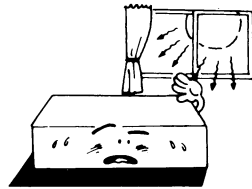
ビデオムービーを編集する際に威力を発揮するタイトル作成機能があります。オリジナルビデオプログラムを作成するときに、ご活用ください。

*LDはLaser Vision Discの略称です。

豊かなAVライフのために

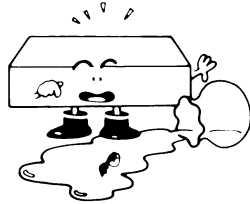
高温・低温はさけて！

窓際や直射日光の当たる場所・暖房器具のそばなど極端に暑い場所(周囲温度35℃以上)・温度の特に低い場所(周囲温度5℃以下)・湿度の多い場所(湿度90%以上)は、さけてください。

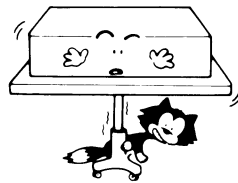


ほこり・水気をさけて！

ほこり・水気の多い場所はさけてください。本機の上に、花瓶や金魚鉢など水の入ったものは置かないでください。

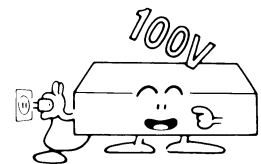


不安定な場所をさけて！

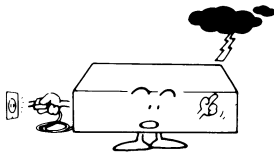


国内のみ使用可

家庭用電源コンセント
AC100V



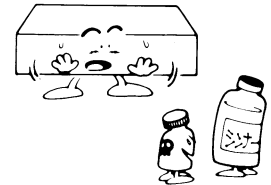
雷が近づいたら



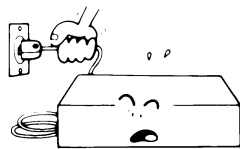
早めに電源プラグをコンセントから抜いてください。このとき、アンテナ線には絶対に触れないでください。

薬物厳禁

ベンジン、シンナーなどの溶剤でふくと、変質したり変色することがあります。薬物の使用はさけてください。掃除をするときは、柔らかい布でカラぶきしてください。また接点復活剤は塗布周辺部分などに悪影響をおよぼしますので、ご使用はさけてください。



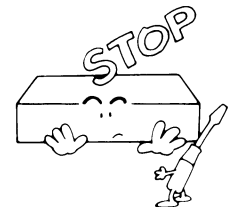
引っばらないで！



結露について

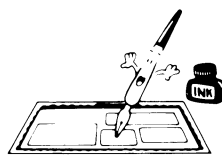
本機を冷えきった状態のまま暖かい室内に持ち込んだり急に室温を上げたりしますと動作部に露が生じ、本機の性能を十分に発揮できなくなる場合があります。このような場合には電源を入れる前に1~2時間程度放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。

開けないで！

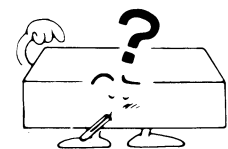


保証書の手続きを！

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行なってください。保証書に販売店名、購入日などがありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、充分ご注意ください。



こわれた？



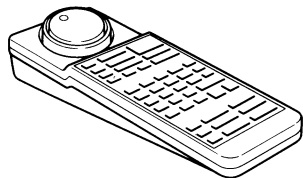
35ページの「故障かなと思ったら」をご覧ください。

ご使用前に

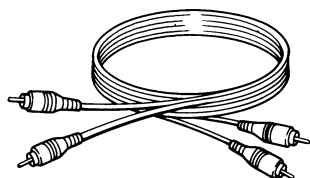
■付属品を確認してください

付属品は6点あります。

●リモコン (RS-206)

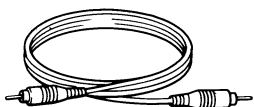


●音声ケーブル
本機のAUDIO OUTPUT端子とステレオアンプやAVテレビの音声入力端子の接続に使用します。

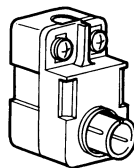


●映像ケーブル

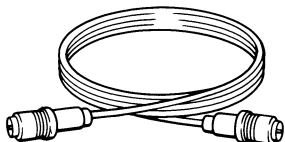
カラーモニターや映像入力端子付テレビを使用する場合、本機のVIDEO SIGNAL端子と、カラーモニターの映像入力端子の接続に使用します。



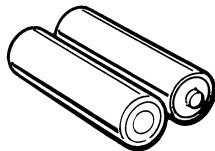
●F型プラグアダプター
ご使用のVHFアンテナケーブルを本機のANT INへ接続するときに使用します。



●RFケーブル
テレビと本機のVHF OUT端子を接続するときに使用します。ご使用になるテレビのアンテナ端子の形状によっては、このケーブルの一端を加工して使用します。



●乾電池
単3 (SUM-3) × 2本



■設置について

本機の電子部品や、精密なメカニズムを保護し、良好な状態でご使用いただくために、次のことに注意して本機の設置を行なってください。

- 本機の上に物を置かないでください。
- 直射日光や高温の場所はさけてください。
- 水平な場所に設置してください。傾いた場所でご使用になりますとディスクを傷つけることがあります。
- 湿気やほこりをさけてください。

●設置場所について

本機を発熱をともなうアンプなどの上に積み重ねたり、通気性の悪いラックなどに入れて使用されますと、ディスクや本機に悪い影響を与えますので通気の良い場所に設置してください。また、本機の上にも物を載せないでください。

●スピーカー、テレビ、チューナーの設置

- 本機の上にテレビ(カラーモニター)を設置しないでください。また、テレビ(カラーモニター)の上に本機を設置しないでください。
- テレビ(モニター)はスピーカーの磁気の影響を受けないよう離して設置してください。
- FM・AM放送を受信しているとき、本機の電源が入っていると受信音に雑音が入る場合があります。本機を使用しないときには電源を切っておいてください。

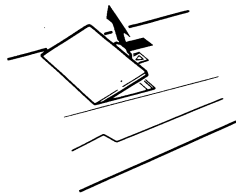
■結露現象について

- 本機を寒い部屋から、急に暖かい部屋に移したりしますとピックアップ部に結露を生じ、正常に動作しないときがあります。そのようなときは電源をいれたまま1～2時間待ってから操作してください。

リモコンを使う前に

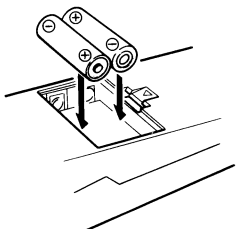
●電池の入れかた

- ①リモコンの裏側の
ふたをはずします。



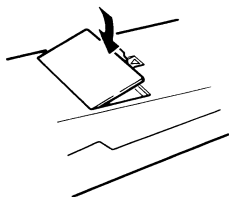
②付属の電池SUM-3型(単3)

- 2本を、⊕⊖の向きをケース内の表示に合わせて正しく入れます。



③電池の挿入がすんだら

- カチッと音がするまでふたをしめます。



●電池の交換時期は？

リモコン操作できる距離が短くなってきたら電池が消耗しています。そのときは、2本とも新しい電池に交換してください。

■乾電池についてのご注意

乾電池は使いかたを誤ると、液もれや破裂などの危険があります。次の点については、特にご注意ください。

電池交換のときは

- 単3型電池(SUM-3)をご使用ください。
- プラス(⊕)とマイナス(⊖)の向きを、電池ケース内の表示通りに正しく入れてください。
- 新しい乾電池と一度使用したものを混ぜて使わないでください。
- 種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。同じ形状でも性能の異なるものがあります。

充電について

- 電池には充電式とそうでないものがあります。電池の注意表示をよく見てご使用ください。

リモコンをお使いになる上で

- 長い間リモコンを使わないときは、電池を取り出しておいてください。
- 消耗してきた電池は、早めに交換してください。

万一の事故を防ぐために

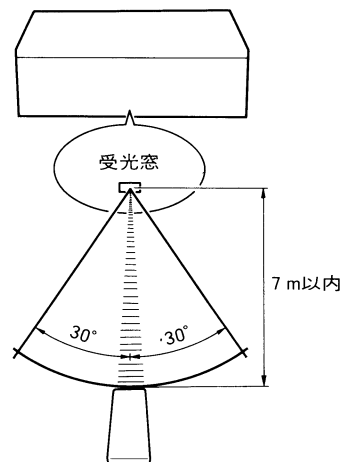
- 分解や加熱をしたり、火の中に入れたりしないでください。また、捨てるときは、指定の場所に捨ててください。
- ⊕と⊖を金属片などで直接つなぐこと(ショート)はしないでください。

液もれがおこったときは

電池ケースについた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。

■リモコンについてのご注意

●リモコンの使用範囲は



図の範囲内であっても、ディスクトレイが開いていて、それによってリモコンからの信号がさえぎられると、動作しませんので、ご使用になる角度に注意してください。

リモコンは必ず両手で操作してください。

リモコンが動作しなくなったら…

電池が消耗していることがあります。新しい電池に取り換えてみてください。また、本機の電源が入っているかどうかもお確かめください。

付属のリモコンは…

本機専用です。近くに他の機器が設置されていると、誤動作をおこすことがあります。リモコン操作によって誤動作する機器があるときは、その機器のリモコン受光窓をふさぐか、設置場所を変えてください。

ていねいに扱ってください。

お茶や水をこぼしたり、強くたたいたり、落としたりしないでください。ストーブのそばや風呂場など、温度・湿度の高い所にも置かないようにご注意ください。



リモコン受光窓に、直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようご注意ください。


強い光が当たっていると、リモコンが動作しなかったり、動きにくくなります。

ディスクについて

■本機で再生できるディスクは下表の通りです

●ディスクマークはディスクのジャケットや解説書に記載されています。

マ ー ク	デ ィ ス ク	サイズ	記号記録面	音声記録方式	映像記録方式	サーチの種類(→P22)	そ の 他
	 CDシングル	8cm	片 面	デジタル (最長20分)		トラックサーチ タイムサーチ インデックスサーチ	TOC(*1)
	CD (コンパクトディスク)	12cm	片 面	デジタル (最長70分)		トラックサーチ タイムサーチ インデックスサーチ	TOC INDEX(*2)
	CDV (コンパクトディスクビデオ)	12cm	片 面	デジタル (最長20分)	CLV(*3) (最長5分)	フレームナンバーサーチ (ビデオパートのみ) タイムナンバーサーチ (ビデオパートのみ) トラックサーチ タイムサーチ インデックスサーチ	TOC INDEX
	CDV-LD (CDVフォーマット レーザービジョンディスク) LDシングル	20cm または 30cm	両 面 または 片 面	デジタル および アナログ	CAV(*4) または CLV	チャプター/トラックサーチ タイムサーチ インデックスサーチ フレームナンバーサーチ タイムナンバーサーチ	TOC INDEX
	LD (レーザービジョンディスク)	20cm または 30cm	両 面 または 片 面	デジタルおよび アナログ(*5) または アナログのみ	CAV または CLV	チャプターサーチ フレームナンバーサーチ タイムナンバーサーチ	


 本機の再生するLD(レーザービジョンディスク)はこのマークがあるディスクに限ります。このマークはビデオディスクの世界統一マークです。CED方式およびVHD方式のビデオディスクは使用できません。

●TOCについて(*1)

CD、CDVやCDV-LDは、ディスクの最初の部分にTOC(テーブルオブコンテンツ)と呼ばれる部分があります。これは本における目次と同様のもので、そのディスクに収められている内容(トラック数や演奏時間など)が記録されています。

●INDEXについて(*2)

ディスクのなかには、クラシック音楽など、ひとつの曲がいくつかの楽章によって構成されている場合、各楽章ごとにインデックスと呼ばれるナンバーをつけているものがあります。そのようなディスクは、インデックスから再生をスタートさせることができます。再生の前にディスクの説明書をお確かめください。

■映像の記録方式について


●長時間ディスク/CLV(*3)

CLV(Constant Linear Velocity)ディスクとも言い、ディスクの内周と外周では、記録速度が一定となるように、回転数が変化します。(内周:1800回転/分~外周:600回転/分)30cmディスクの場合、片面には最大60分まで記録されます。

●標準ディスク/CAV(*4)


CAV(Constant Angular Velocity)ディスクとも言い、ディスクの内周から外周にかけて一定回転で信号が記録されています。30cmディスクの場合、片面には、最大30分まで、フレーム(画面)数にして54,000枚まで記録されます。

■音声について(*5)

ディスクのなかには、音声デジタルとアナログの両方で記録され、再生時にそのどちらかを選択できるものがあります。(音声デジタルで記録されているディスクにはジャケットに  マークが記載されています。)

本機は音声切換キーで、再生する音声を、デジタル音声、アナログ音声のどちらかを選択することができます。

■デジタル音声付きレーザービジョン・マルチオーディオディスクについて

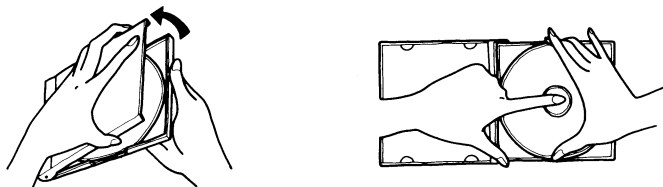
ジャケットやレーベルに  マークの付いたディスクは、デジタル音声、アナログ音声それぞれに異なった内容の音声記録されていて、再生時に音声を選択することができます。詳細は20ページをご参照ください。

●本機は日本のテレビ方式であるNTSC方式に適合しています。他のテレビ方式(PAL, SECAM)の表示のあるディスクおよびテレビは使用できません。

■ディスクの取り扱いかた

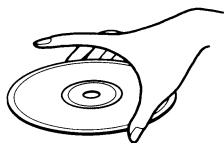
●12cmCDV、8cmCDの取り出しかた

1. 右手でケースの両横側面を支え、左手で上下側面を持ってフタを開けます。
2. 左手の指先でケースのセンターホルダーを押さえ、右手でディスクを持ちあげます。



●12cmCDV、8cmCDの持ちかた

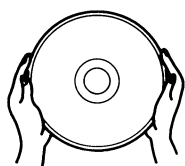
ディスクの両端をはさんで持ちます。



●20cm、30cmディスクの持ちかた

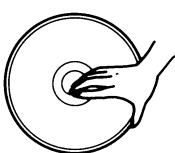
両手で持つ場合

ディスクの両端をはさんで持ちます。

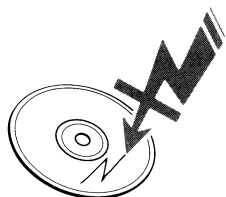


片手で持つ場合

中央の穴と外周部にかけて持ちます。



●ディスクに紙やシールを貼り付けたり、キズを付けたりしないでください。



●そりや傷のあるディスクは使わないでください。

ディスクのそりや傷は画質、音質を損ねるばかりでなく、ひどい場合にはセットに損傷を与えたり、寿命を著しく縮めたりすることがありますので、ご使用にならないでください。

もしディスクがそってしまったときは、右項の「もしディスクがそったときは」をご参照のうえ、ディスクを矯正してからご使用ください。

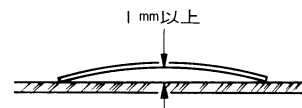
●ディスクの保管について

そりを防ぐために使用後は、ディスクをトレイから必ず取り出してください。取り出したディスクはジャケットに収め、高温多湿の場所を避けて垂直に保管してください。斜めにしたり、積み重ねて保管しておくとうディスクがそる場合がありますのでご注意ください。また、ディスクに付いている注意書も必ずお読みください。

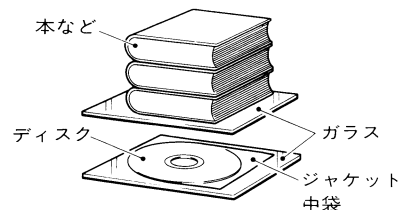
●もしディスクがそったときには

平らな面(ガラス等)の上にディスクを置いて隙間(目安として1mm以上)ができるディスクはそりが大きすぎます。矯正してからご使用ください。

1mm以上の隙間があるディスクは矯正してください。



ディスクが変形してしまった場合には、ディスクを中袋に入れてガラスなど平らな板ではさみ、4~5kgの重しをのせて1日ほどそのままにしておいてください。そりなどが軽減されることがあります。

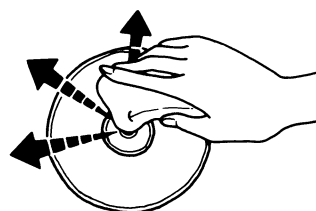


■ディスクのお手入れについて

より良い画質・音質でお楽しみいただくため、ディスク面についてホコリやゴミ、指紋などは、柔らかい布でふきとってからご使用ください。

汚れがひどい場合は、水にひたしてからよくしぼった柔らかい布でよごれをふきとり、乾いた布でからふきしてください。

またディスクのクリーニングの際に、ベンジンやレコードクリーナー、静電防止剤などは絶対に使用しないでください。



みがく時は放射状に



●ご注意

ディスクは熱などにデリケートな素材でできています。

再生後は必ずトレイからとり出してジャケットやケースに収めて高温多湿をさけて垂直に保管してください。

リアパネル各部の名称とはたらき

オーディオ AUDIO (音声出力端子)

音声信号を出力する端子です。

VARIABLE (可変)：フロントパネルのOUTPUT LEVEL コントロールで出力レベルを調整することができます。

FIXED (固定)：一定のレベルで出力されます。

DIGITAL OUTPUT OPTICAL (デジタルアウト オプティカル)：

音声信号がデジタルで出力されますので、デジタルオプティカル入力端子を装備したアンプとデジタル接続をすることができます。

- ディスクのデジタル音声はデジタル信号のまま出力され、アナログ音声は、本機内蔵のA/Dコンバーターによりデジタル信号に変換されて出力されます。

チャンネル切換スイッチ

VHF OUT端子からの出力信号をテレビの空きチャンネルに合わせて切り換えるスイッチです。

(CH : 1 チャンネル、CH 2 : 2 チャンネル)

アンテナ 入力 ANT IN 端子

VHF用テレビアンテナから放送信号またはVTRを経由したVHF信号を入力する端子です。(接続例A、Bのときに使用します)

ファイエッチエフ アウト VHF OUT 端子

再生する映像と音声をVHF信号にして出力する端子です。(接続例A、Bのときに使用します)

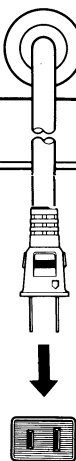
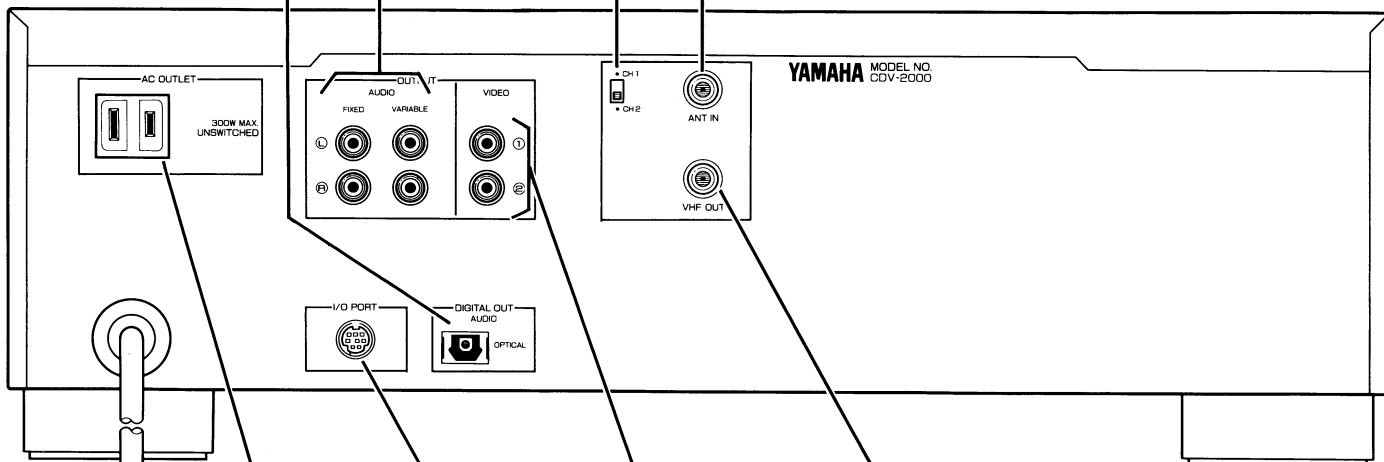
ビデオ VIDEO (映像出力端子)

映像信号を出力する端子です。

2台のテレビを接続することができます。

アイオー ポート I/O PORT

調整用端子です。ご使用になれません。



電源コンセント
AC100V、50/60Hz

電源コンセント

消費電力300W以下のオーディオ機器に電源を供給するコンセントです。本機のPOWERスイッチのオン/オフには関係なく常に電源を供給します。

ご注意：接続する機器の消費電力をお確かめのうえ必ず300W以下の機器を接続してください。

接続のしかた

接続の際のご注意

- 電源スイッチ……本機および各機器の電源を切ってから接続してください。
- 電源プラグ……接続に誤りがないことを確認してから、電源コンセントに差し込んでください。
- 接続コード……各機器のL(左チャンネル)・R(右チャンネル)を確認して、正しく確実に接続してください。

■接続のまえに

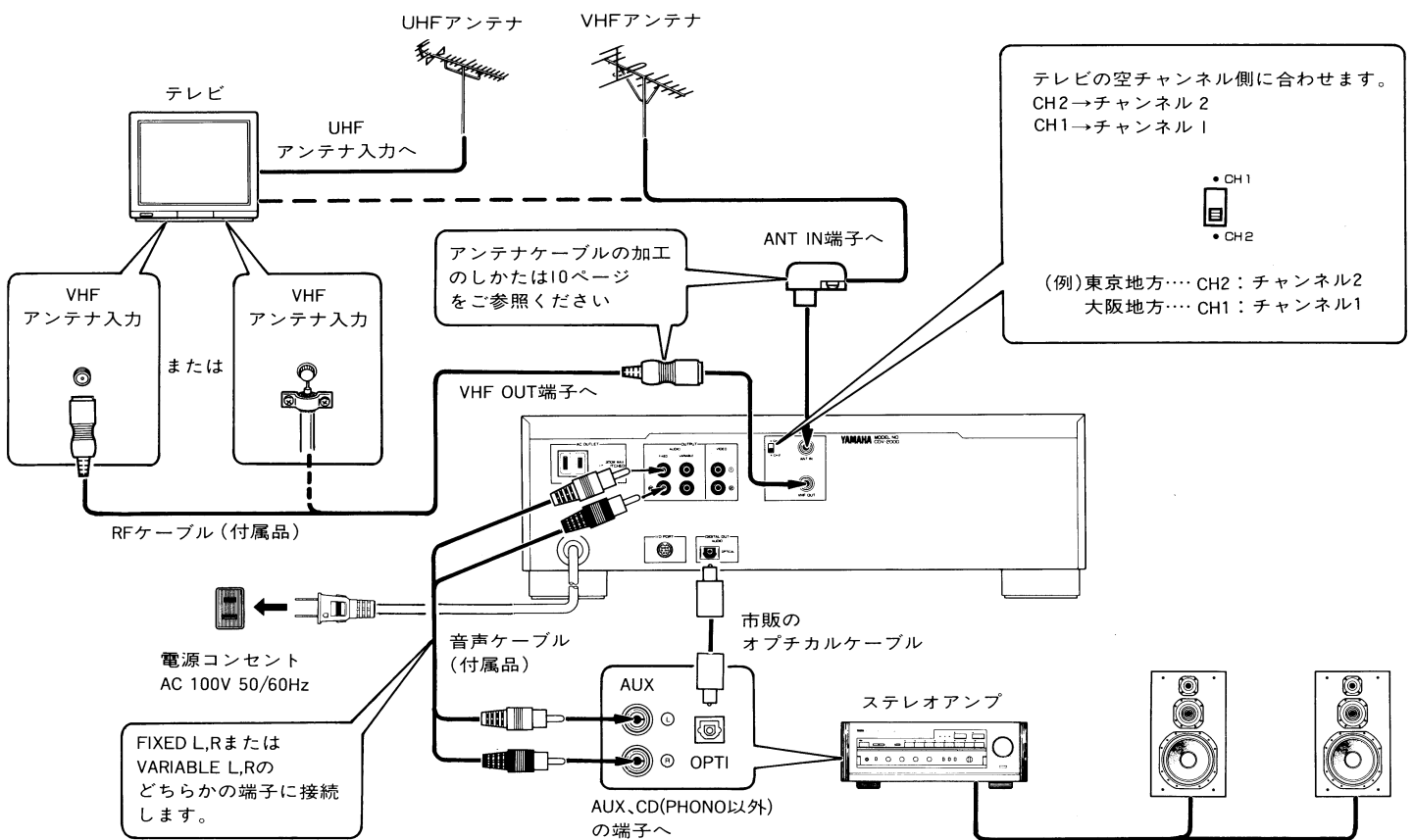
- ご使用になるテレビによって接続の方法が異なります。お手持ちのテレビを確認し、各接続例をご参照ください。
- 接続する機器によって端子などの名称が異なります。接続の際は、各機器の取扱説明書も合わせてご参照ください。
- 本機とステレオアンプを接続しますと、より質の高い迫力ある音声が楽しめます。
 - *本機のリアパネルのAUDIO SIGNAL端子(L、R)をアンプのAUX(補助)、CDやTAPE PB(テープ再生)など、どれかひとつの入力端子(L、R)に接続します。このときPHONO(レコード)端子には接続しないでください。
 - *デジタルオプティカル入力端子をもつアンプと市販のオプティカルケーブルで接続しますと、ディスクのデジタル音声はデジタル信号のまま、アナログ音声はデジタル信号に内部変換してアンプに出力されます。

■電源コードの極性表示について

電源プラグはAC100Vの家庭用コンセントに接続してください。本機の消費電力は50Wです。
 本機の電源コードには、極性表示(電源トランスの巻き始め側を、プラグに「□」マークで表示)されています。これは、各機器の電源の極性を合わせるためです。家庭用のコンセントに接続する場合、極性表示のある方を家庭用コンセントの長い方の穴に合わせて接続してください。

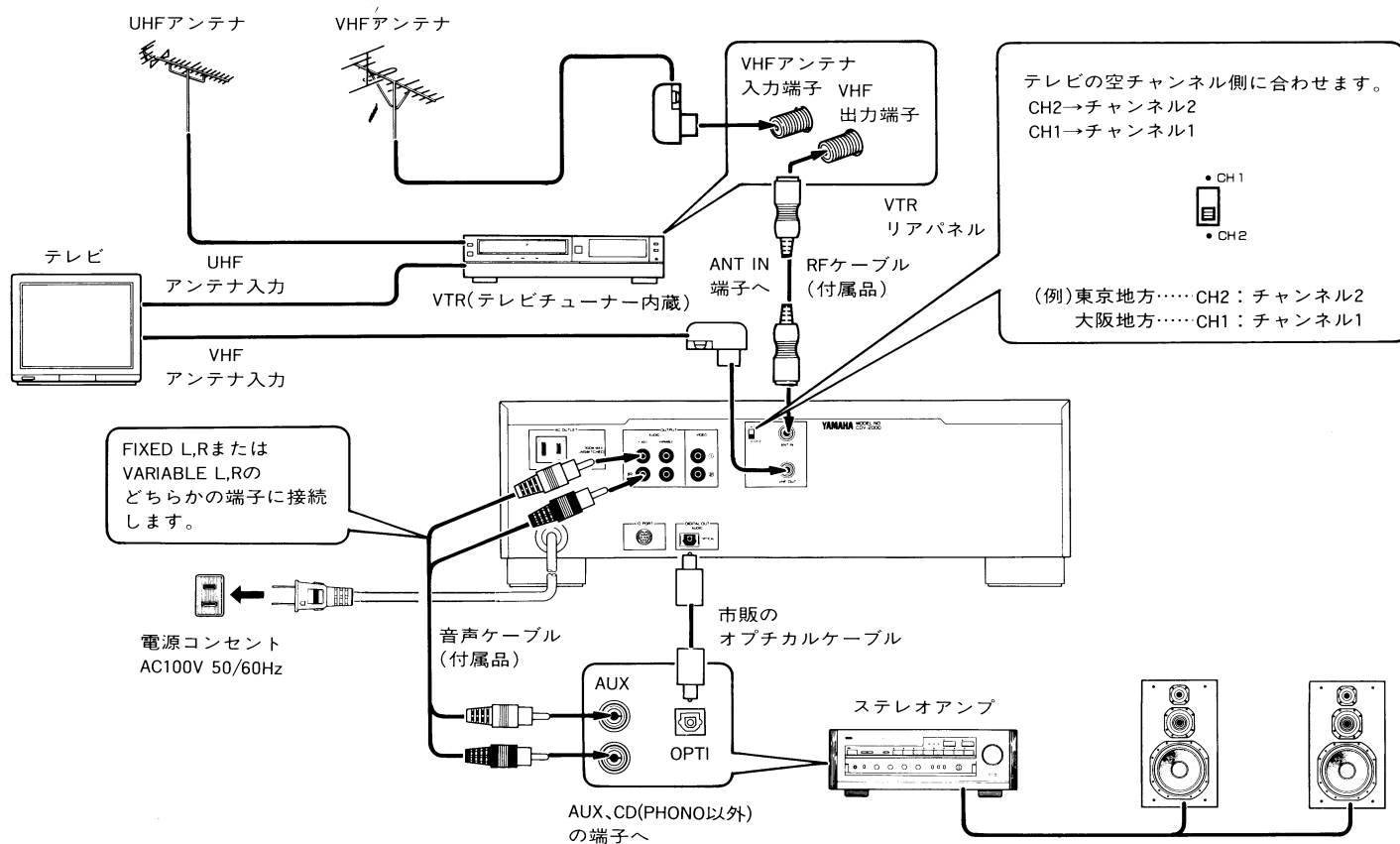
接続例 A

エービー AV入力端子のないテレビと接続する場合は、テレビのVHFアンテナとテレビの間に本機を接続します。
 ●本機の映像および音声信号はテレビのVHF電波と同じに変えられ、テレビへ送られます。従って現在UHF放送だけを受信されている地域の方も、この接続が必要です。

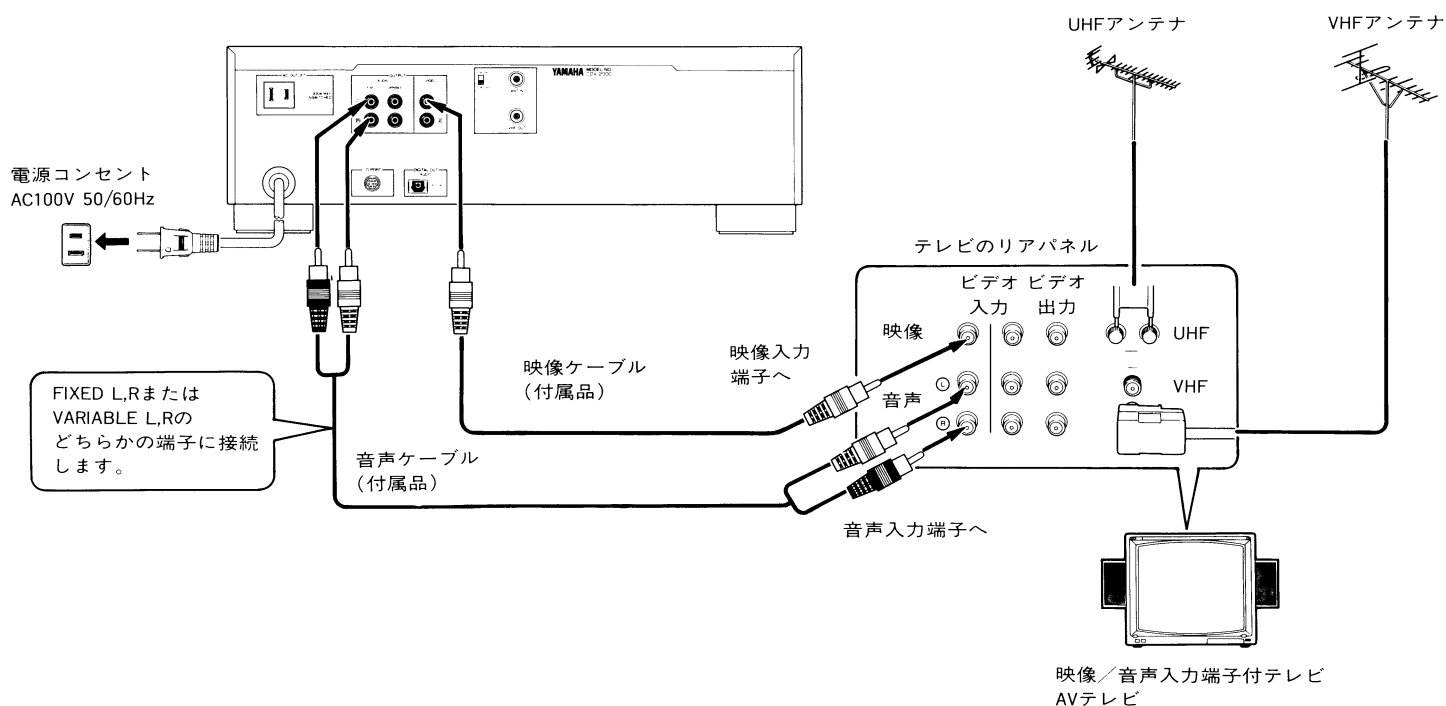


接続のしかた

接続例 B テレビをすでにVTRと接続している場合は、テレビとVTRの間に本機を接続します。



接続例 C 映像/音声入力端子のあるモニターテレビやAVテレビの場合



■付属のRFケーブルの加工のしかた

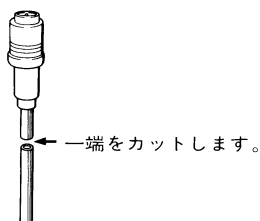
- テレビのVHFアンテナ入力端子がF型ターミナルでない場合は、RFケーブルの一端を加工して接続します。



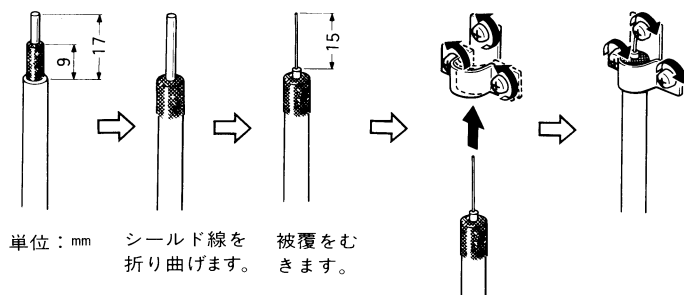
F型ターミナルでない場合：
下記の要領でRFケーブルを加工してください。

F型ターミナル：
この場合はRFケーブルを加工する必要はありません。

- ①RFケーブルの片方のプラグ側を切断します。



- ②ケーブルの先端を加工して、取り付けます。

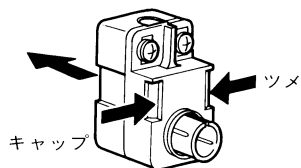


■付属のF型プラグアダプターの使いかた

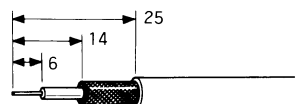
VHF用テレビアンテナのケーブルを本機のANT IN端子に接続するときに使用します。

- アンテナケーブルが同軸ケーブルの場合

- ①F型プラグアダプターのツメを内側に押さえてキャップをはずします。

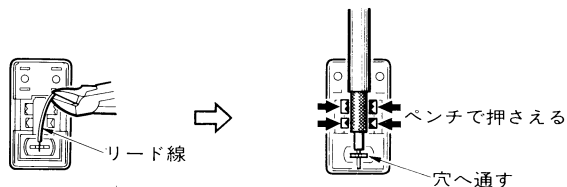


- ②同軸ケーブルの先端を切断してから加工します。

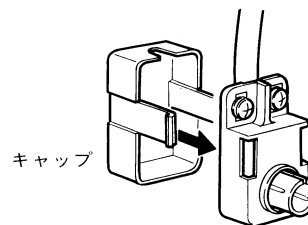


単位：mm

- ③赤いリード線を切って取り除き、同軸ケーブルを図のように穴に通し、ペンチで押さえます。

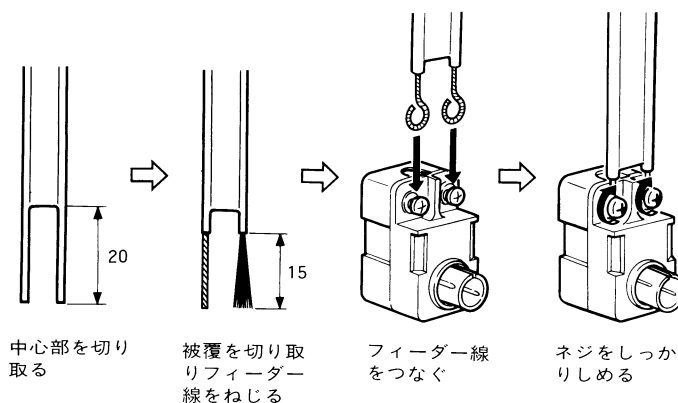


- ④キャップの先端部を入れ、次に後部を押し込みます。

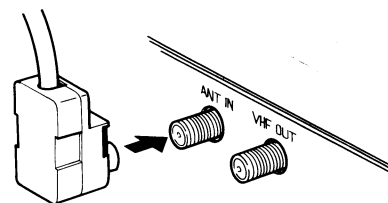


- アンテナケーブルが平行フィーダーの場合

- ①F型プラグアダプターのターミナルに平行フィーダーを接続します。



- F型プラグアダプターを本機のANT IN端子にしっかり差込みます。



リモコンの付いているキーは、リモコンのキーも同じ機能です

シャトルリング

リモコン

右に回しますと再生が早送り、左に回しますと早戻しされます。早送り、早戻しの速度は回す角度により、2倍速、5倍速、中速、高速に変化します。●P.19

- 音声は再生速度に合わせて変化します。

スピードインジケータ

ジョグダイヤルがスピード調整機能中であることを示します。マルチスピード再生、スチルウィズサウンド再生時は自動的に点灯します。また、リモコンのスピードキーを押すと点灯し、ジョグダイヤルをスピード調整機能にすることができます。

タイトルキー/インジケータ

リモコン

ストップ時にタイトル作成をするときに押します。タイトル作成機能が働いているときはキーが点灯します。●タイトル作成後はこのキーで、画面へのタイトルの呼び出し、消去をすることができます。

OUTPUT LEVELコントロール

リモコン

リアパネルのVARIABLE端子およびPHONESジャックに接続したヘッドホンの音量を調整します。

PHONES

ヘッドホンを接続するジャックです。

OPEN/CLOSEキー

リモコン

ディスクトレイを開閉します。再生中に押しますと、再生はストップしディスクトレイが開きます。

PLAYキー

リモコン

再生を開始します。

- 静止画再生時やマルチスピード再生時に押しますと、通常の再生に戻ります。
- タイトル作成時はヘルプ画面をオン/オフします。

PAUSE/STOPキー

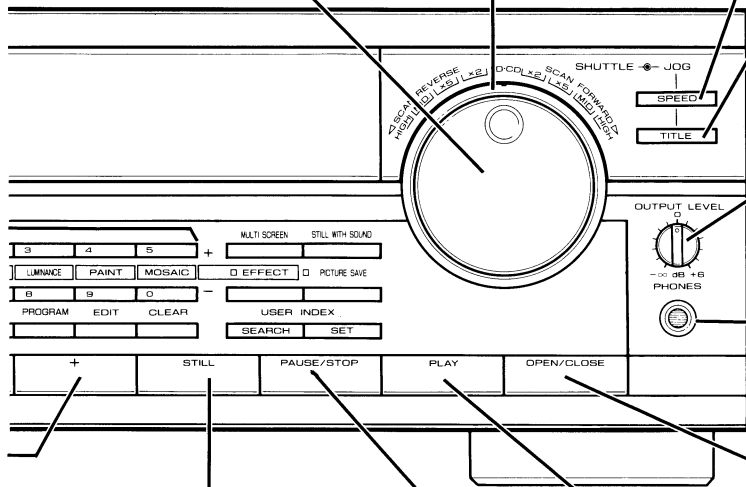
リモコン

一度押しますとポーズ(一時停止)、もう一度押しますとストップ(停止)します。ディスクトレイが開いているときに一度押しますと、トレイは自動的に閉まり、最初に再生するチャプター/トラックの頭でポーズになります。

STILLキー

このキーを押しますと静止画になります。●P.19
通常の再生に戻るときはプレイキーを押します。

- 静止画再生時は、音声は出ません。
- CD、CDVのオーディオパート再生時は機能しません。



フロントパネル各部の名称とはたらき

STILL WITH SOUND スタイル ウィズ サウンドキー ○P.29 リモコン

音声はそのままに、画面を静止画にします。

- もう一度押しますと、画面はそのときの静止画に変わります。
- スタイルウィズサウンド中に、ジョグダイヤルを回しますとストロボ画面になります。
- CD、CDVオーディオパート再生時は、このキーは機能しません。
- クリアキーを押しますと、通常の画面に戻ります。

MULTI SCREEN マルチ 画面キー ○P.30 リモコン

キーを押すごとにマルチ画面になります。キーを押すごとに画面は小画面分割→4分割画面→通常画面の順に変わります。

- ピクチャーセーブ時や、CD、CDVオーディオパート再生時は、このキーは機能しません。
- クリアキーを押しますと、通常の画面に戻ります。

DISPLAY MODE 表示 モードキー ○P.21 リモコン

マルチディスプレイおよび画面のタイム（時間）表示を切り換えます。

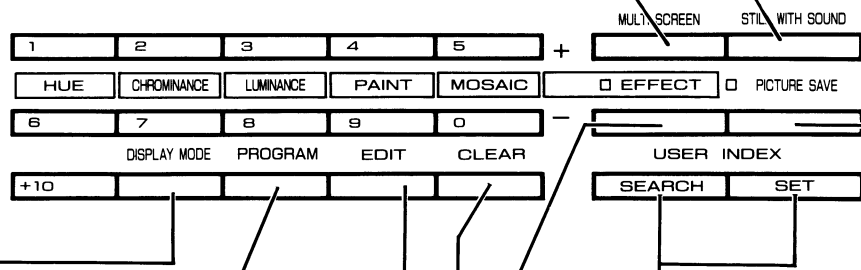
- タイトルエディット時は文字サイズ選択キーになります。

PICTURE SAVE ピクチャー セーブキー ○P.29 リモコン

ストップ時やディスクトレイが開いているときの画面を、本機の初期画面の替りにディスクからセーブ（記憶）した静止画にするキーです。

再生中にキーを押し、インジケータが赤く点灯しますとセーブされます。またピクチャーセーブが働き静止画再生中は緑に点灯します。

- ピクチャーセーブを解除するときにはもう一度ピクチャーセーブキーまたはクリアキーを押します。
- CD、12cmCDVのオーディオパート再生時は、このキーは機能しません。（ピクチャーセーブを解除することができません。）



PROGRAM プログラムキー ○P.27 リモコン

プログラムをセットするときに押します。

- タイトルエディット時は文字決定キーになります。

EDIT エディットキー ○P.28 リモコン

エディットプログラムをするときに押します。

- タイトルエディット時は改行キーになります。

CLEAR クリアキー リモコン

テンキーの入力、エフェクト、ランダムエフェクト、スチルウィズサウンド、マルチ画面、エフェクト画面、プログラム入力および各サーチの入力モードを解除するときに押します。

USER INDEX ユーザー インデックス **SEARCH** サーチ **SET** セットキー ○P.31 リモコン

SEARCH：再生モードをユーザーインデックスモードにします。もう一度押しますと通常の再生モードに戻ります。

ユーザーインデックスナンバーをサーチするときに押します。

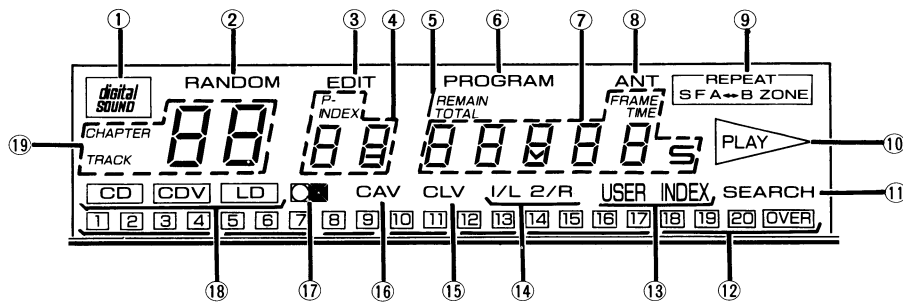
SET：ユーザーインデックスナンバーを指定するときに押します。

EFFECT エフェクトキー ○P.30 リモコン

画面にエフェクトを付けるときに押します。

キーを押しますと、インジケータが点滅し、テン(1~0)キーがそれぞれエフェクトキーの機能に変わります。

マルチディスプレイ



① ^{デジタル}DIGITAL SOUND ^{サウンド}インジケータ ○P.20
デジタル音声を再生しているとき点灯します。

② ^{ランダム}RANDOM インジケータ ○P.19
ランダム再生時に点灯します。

③ ^{エディット}EDIT インジケータ ○P.28
エディットプログラム時に点灯します。

④ ^{インデックス}INDEX / プログラム (P-) ナンバーインジケータ ○P.25、27
プログラム再生時はプログラムナンバーを、通常再生時はインデックスナンバーを表示します。

⑤ ^{トータル}TOTAL インジケータ ○P.24
ディスクのトータルタイムを表示中に点灯します。
^{リメイン}REMAIN インジケータ
ディスクのリメインタイムを表示中に点灯します。

⑥ ^{プログラム}PROGRAM インジケータ ○P.27
プログラム再生時に点灯します。

⑦ フレームナンバー / トラックタイムインジケータ ○P.18
フレームナンバーやタイムナンバーを、**CD**、**CDV**再生中はトラックタイム、トータルタイム、リメインタイムなどを表示します。

⑧ ^{アンテナ}ANT インジケータ ○P.19
本機をRF接続 (→8、9 ページ) しているときに、テレビ放送を視聴するときは、リモコンのVHF切換キーを押して、このインジケータを点灯させます。

⑨ ^{リピート}REPEAT S. F. A-B. ZONE インジケータ ○P.25
リピート再生時に点灯し、リピート再生の種類を表示します。

⑩ ^{プレイ}PLAY インジケータ
再生中は点灯、ポーズ中は点滅、ストップ時は消灯します。

⑪ ^{サーチ}SEARCH インジケータ
キーを操作し、本機が指定されたチャプター、トラック、フレーム、タイム、インデックスなどをサーチしているときに点灯します。

⑫ プログラムカレンダー
通常再生時：

- 収録曲の番号が点灯し、再生の終わった曲の番号は消灯します。
- TOCの記録されていないLDでは点灯しません。
- 収録曲が20曲以上の場合はOVERが点灯します。
- チャプター0は表示されません。

プログラム再生時：

プログラムされた曲の番号が点灯し、再生の終わった番号は消灯します。

- プログラムした曲番が20以上の場合はOVERが点灯します。

ユーザーインデックスモード：

現在のユーザーインデックスナンバーから割り付けられている最大のユーザーインデックスナンバーまでが点灯します。

⑬ ^{ユーザー}USER INDEX ^{インデックス}インジケータ ○P.31
ユーザーインデックスモードのときに点灯します。

⑭ 音声切換インジケータ ○P.20
再生中の音声チャンネルを点灯表示します。

⑮ ^{シーエルヴィ}CLV インジケータ
CLVディスクを再生中に点灯します。

⑯ ^{シーエーヴィ}CAV インジケータ
CAVディスクを再生中に点灯します。

⑰ ^{シーエックス}CX インジケータ ○P.20
CX NR で記録されたディスクを再生中に点灯します。

⑱ ディスクインジケータ
ディスクトレイにセットされているディスクの種類を点灯表示します。
* 20cm・30cm CDVは **CDV** と **LD** の双方が点灯します。

⑲ ^{チャプター}CHAPTER / ^{トラック}TRACK インジケータ ○P.18
再生またはサーチ中のチャプターまたはトラックのナンバーを表示します。

ディスクに記録されている方式に従い、チャプターまたはトラックのどちらかの文字が点灯します。また、再生またはサーチ中のナンバーを表示します。

リモコンのキーの名称とはたらき

ジョグインジケータ

リモコンのジョグ、タイトル、スピード、マルチスピードプレイ、スティルウィズサウンドの各キーを押しますと点灯しこれらのモードを続けて使用しない場合は、電池節減のため、自動的にパワーオフとなり約3分後に消灯します。他のキーでは点灯しませんが、リモコンは動きます。

スピードキー ●P.29

マルチスピード再生をするときに、スピードをジョグダイヤルで選択するときに押します。

マルチスピードプレイキー ●P.29

スピードキーを押し、ジョグダイヤルで設定したスピードで再生をする方向を選びます。

- ▷：正方向にマルチスピード再生します。
- ◁：逆方向にマルチスピード再生します。

- スピードが*0.50以上のとき音声は設定したスピードに応じて再生されます。
- 通常の再生に戻すときはプレイキーを押します。

画面表示キー ●P.21

画面の表示をオン/オフします。

リピートキー ●P.25

シングルリピート、フルリピート、ゾーンリピート(12cm CDVのみ)を設定するときに押します。また、シングル、フル、ゾーンの各リピートおよびA-Bリピートを解除するときにも押します。

A-Bリピートキー ●P.25

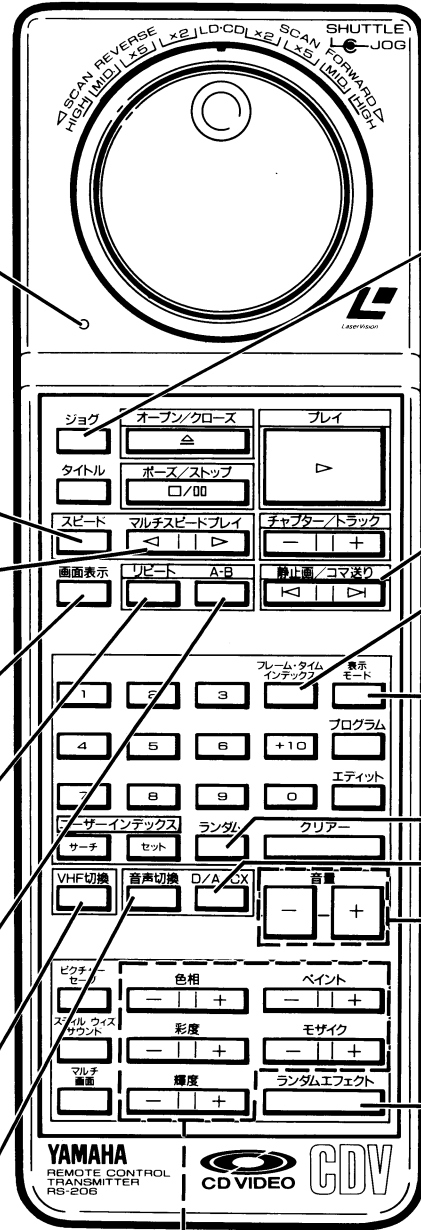
A-Bリピートをするときに押します。一度押しますとA点が指定され、もう一度押しますとB点が指定されA-Bリピート再生が開始します。

VHF切換キー ●P.19

RF接続(→8,9ページ)をしているときに、本機の再生とテレビ放送の受信を切り換えるキーです。

音声切換キー ●P.20

再生する音声を1/左チャンネル→2/右チャンネル→ステレオの順に切り換えます。



エフェクトキー ●P.29

ダイレクトに画面にエフェクトをつけることができます。

	色相	彩度	輝度	彩色	ポカシ
+	色相を3段階に設定	色の濃さを4段階に設定	画面の明るさを8段階に設定	ハイレゾリューションを3段階に設定	モザイクを4段階に設定
-	+キーで指定したエフェクトを1段階ずつ元に戻す				

●CD、12cm CDVのオーディオパート再生時は、このキーは機能しません。

●特に説明のないキーは本体のキーと同じ機能です。11～13ページをご参照ください。

ジョグキー ●P.19

リモコンのジョグダイヤルでコマ送りをするとき、および他の機能からコマ送り機能に戻すときに押します。

静止画/コマ送りキー ●P.19

KIまたはKJキーを押しますと静止画になります。

KJキー：押すごとに正方向にコマ送りします。

KIキー：押すごとに逆方向にコマ送りします？

●このキーを使って静止画/コマ送り再生中は音声は出ません。

フレーム・タイム/インデックスキー ●P.23

フレームナンバーサーチ、タイムナンバーサーチやインデックスサーチをするときに押します。

表示モードキー ●P.21

マルチディスプレイおよび画面の表示内容を切り換えます。

ランダムキー ●P.19

このキーを押しますと、ランダム再生モードになり、チャプター/トラックを本機がランダムに選択して再生します。もう一度押すかクリアキーを押しますと、通常の再生に戻ります。

DA / CXキー ●P.20

デジタル音声入りのディスクではデジタル音声とアナログ音声を切り換えます。また、CX-NRをマニュアルでONにするディスクの場合は、このキーでONにします。

●CD、12cmCDVでは、このキーは機能しません。

音量キー

+キーを押しますと、ヘッドホンの音量およびVARIABLE出力端子を使つての接続時はその出力レベルが大きくなり、-キーを押しますと小さくなります。

ランダムエフェクトキー ●P.30

このキーを押しますと5種類のエフェクトをランダムにつけた画面が再生され、もう一度押しますと解除されます。

●CD、12cmCDV オーディオパート再生時は、このキーは機能しません。

—タイトル作成時のリモコンのキーの機能 ●P.33

①タイトル

タイトル作成モードにするときに押します。

もう一度押しますと通常の再生モードになります。

●タイトル作成後は、このキーを押しますとタイトルを画面に表示し、もう一度押しますと画面から消えます。

②+10キー

一度押すと枠付き文字になり、もう一度押すと通常の文字になります。

③テン(1~0)キー

1~9のキーで背景色を選択することができます。

●0キーを押しますと、タイトルはスーパーインポーズ(画面にタイトル文字を重ね合わせる)になります。

④ジョグダイヤル

文字を選択します。

⑤プレイキー

このキーを押しますと、画面がヘルプモードになり、タイトル作成時のキー機能が表示されます。

もう一度押しますと、タイトル作成モードに戻ります。

⑥チャプター/トラックキー

文字の入る位置を決めます。

⑦静止画/コマ送りキー

文字を修正あるいは挿入するときに押します。

⑧表示モードキー

画面の偶数行の文字を2倍角にします。

⑨プログラムキー

ジョグダイヤルで選択した文字を決定するときに押します。

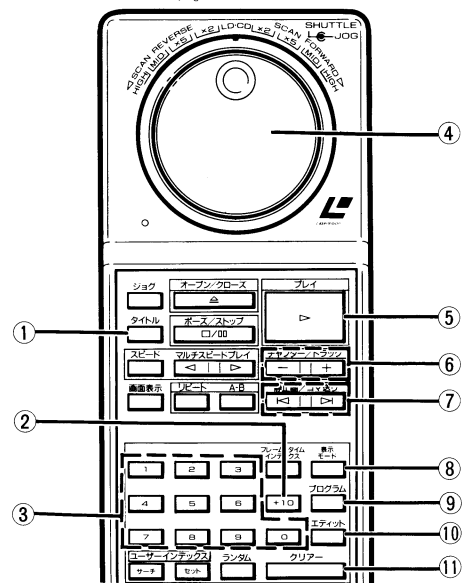
⑩エディットキー

改行するときに押します。

⑪クリアーキー

タイトルキーを押してタイトル作成モードになったとき、WELCOMEの文字を消し、実際のタイトル作成に移るときに押します。

●タイトルを変更する場合は、このキーを押しますと入力中の文字はすべてクリアされます。

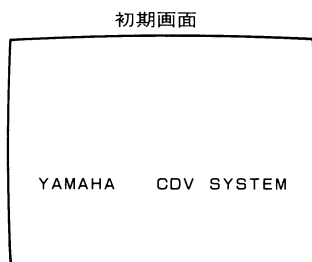


再生のしかた

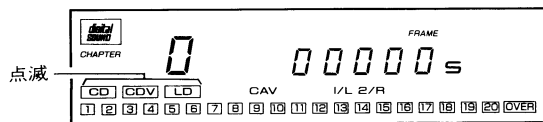
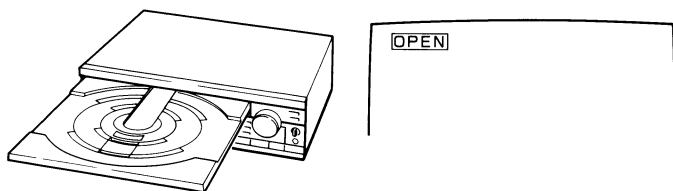
●本体およびリモコンでも同様の操作です。

1 本機および接続した各機器の電源を入れます。

- CDV、LDを再生するときは、接続したテレビを本機の再生ができるようにセットします。



2 オープン/クローズキーを押しディスクトレイを開けます。

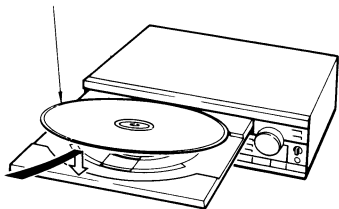


3 ディスクをセットします。

- 再生したいレーベル面を上にしてセットしてください。

●30cmディスクの場合

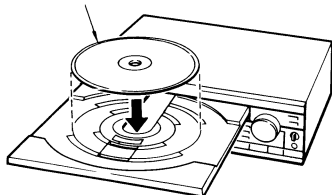
見たいレーベル面を上にして30cmのガイドの内側に確実にセットします。



●20cmディスクの場合

(LDシングルの場合 アダプターは不用です)

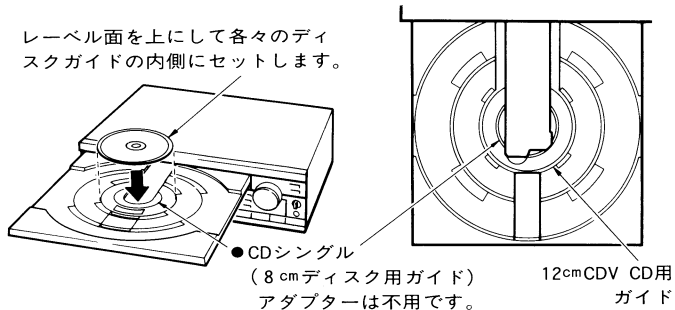
見たいレーベル面を上にして20cmのガイドの内側に確実にセットします。



- 片面ディスクで裏面が不透明なアクリル樹脂製のものを再生する場合は、レーベル面(アクリル樹脂側)を上向きに、キラキラ光る側の面を下向きにセットしてください。逆向きにセットすると故障の原因となります。

- 12cm CDVおよびCDの信号は片面だけに記録されています。レーベル面を上にしてセットしてください。

レーベル面を上にして各々のディスクガイドの内側にセットします。

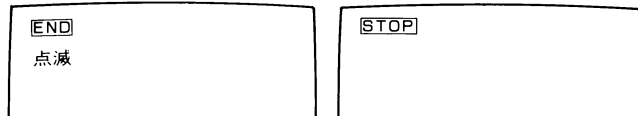


ディスクトレイのガイドにディスクのふちを合わせて確実にセットします。誤ってずれたままトレイを閉めた場合には、速やかにトレイを開き、セットし直してください。ずれたまま動作させますとディスクを傷つけるだけでなく、本体の故障の原因となる場合があります。

4 オープン/クローズキーまたはプレイキーを押し、ディスクトレイを閉めますと、ディスクの頭から再生がスタートします。

- ディスクトレイは手で軽く押しでも閉めることができます。
- 12cm CDVはビデオパートから再生がスタートします。

5 再生が終了しますとストップ状態になります。



- 12cm CDVはビデオパートの再生が終了しますと、自動的にオーディオパートのトラック1の再生に移り、オーディオパートがすべて終了しますとストップします。(オーディオパート再生時はオートピクチャーセーブ機能の働きにより、ビデオパートの一面がランダムに選ばれ静止画で再生されます)

ご注意

- 再生中は本機を動かさないでください。再生中、ディスクは高速で回転しています。このとき本機を持ち上げたり、動かしたりしますとディスクを傷つける恐れがあります。本機を移動などするときは必ず再生を止め、ディスクを取り出してください。
- ディスクトレイは手で無理に開閉しないでください。
- 本機をご使用にならないときは、ゴミやホコリを避けるためにディスクトレイは閉めておいてください。
- 一度にセットできるディスクは1枚です。LDとCDVやCDを重ねてセットしますと、ディスクを傷付けたり、本機の故障の原因ともなりますので絶対におやめください。またディスクトレイにはディスク以外のものをセットしないでください。
- 引き出したままのディスクトレイに強い力(特に上下方向)を加えますと本機の故障の原因となります。また本機が落下する危険もあります。

●本取扱説明書はリモコンによる操作を基本にして説明しています。

再生を一時止めるには……ポーズ

ポーズ/ストップキーを一回押します。

音声または映像は、その位置で一時停止します。(ディスクは回転を続けています。)

*再生を再開する場合はプレイキーを押します。

再生を止めるには……ストップ

ポーズ/ストップキーを2回押します。

ストップ(停止)状態になり、ディスクの回転は停止します。
プレイキーを押しますとディスクの頭から再生がスタートします。
(12cm CDVはビデオパートの頭から再生がスタートします。)

ディスクの取り出ししかた

オープン/クローズキーを押します。ディスクトレイが完全に開いてから、ディスクを取り出します。

異なる種類のディスク(例えばLDからCD)を続けて演奏をしますと、後から演奏するディスクの情報を本機が読みこむまでは、前のディスクの表示(例えばCHAPTERあるいはTRACKなど)をしています。

再生を終えるときは

ディスクトレイ内にディスクが無いことを確認してからディスクトレイを閉め、本体のPOWERスイッチを押して電源を切ります。

表示について

●画面

20cm・30cm CDV, LD

OPEN CLOSE START
PAUSE, STOP, SEARCHなど
動作状態を表示します。

CHAPTER/トラックナンバー、
インデックスナンバーを表示します
タイム/フレームナンバーを表示

CAV, CLV,
SIDE-A, SIDE-Bなど
ディスクの状態を
表示します。

総演奏時間を
表示します
(TOCのある
ディスクの場合)

ディスクの収録曲を表示します。(TOCのあるディスクの場合)
(▷は再生するCHAPTER/トラックを示します。)

12cm CDV

トラックナンバー表示 インデックスナンバー表示、

動作状態表示

CDVを表示

ディスクの
収録曲表示

タイム表示

オーディオパートの
総演奏時間

ビデオパートの
総演奏時間

CD

トラックナンバー表示 インデックスナンバー表示

動作状態の表示

CDを表示

ディスクの収録曲

タイム表示

ディスクの
総演奏時間の表示

※この画面は説明用画面です。すべてが同時に表示されることはありません。またディスクによっては表示されない情報もあります。

●ディスプレイ (通常再生時の表示)

20cm・30cm CDV, LD

CAVディスク

デジタル音声再生時は点灯

●CDV-LDディスクではCDVとLDのインジケーターが点灯

CX・NRディスク再生時に点灯

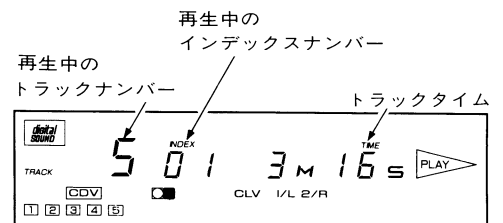
この例ではCHAPTER 3の10869フレームを再生中(表示モードキーを押しますとトータルタイム表示になります。)

CLVディスク

●CDV-LDディスクではCDVとLDのインジケーターが点灯

この例では、CHAPTER 12を再生中、ディスクの頭から43分29秒経過

12cm CDV, CD



この例では、5曲入りのディスクのビデオパート再生中、3分16秒経過
ビデオパート再生中は再生の終わっていないオーディオパートのプログラムカレンダー①~④および⑤が点灯します。

CHAPTER、トラック、タイム、フレームなどの用語については21ページ以降をご参照ください。

再生のしかた

ランダム再生のしかた

プレイキーの代わりにランダムキーを押して再生をスタートしたときや、再生中にランダムキーを押しますと、本機が任意のチャプター/トラックを選んで再生するランダム再生になります。

- チャプター/トラック(+)キーを押しますと、ランダム再生する曲を次に進めることができます。(-)キーを押しますと、再生中の曲の頭に戻ります。
- 通常の再生に戻るときは、もう一度ランダムキーを押すか、クリアキーを押します。

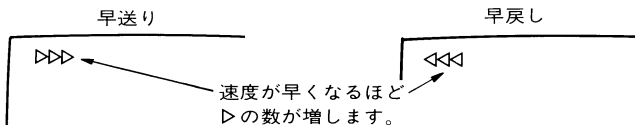
ピクチャーストップについて

ピクチャーストップコードが記録されているディスクを再生しますと、コードで指定されているフレーム(画面)まで再生されたと自動的に静止画となります。その場合は、プレイキーや静止画/コマ送りキーを使って、画面を次のステップへ進めたり、前のステップへ戻すことができます。

- ピクチャーストップのあるディスクの再生のしかたはディスクの説明文をご参照ください。

早送り・早戻しについて

シャトルリングを右に回しますと早送り、左に回しますと、早戻しになります。早送り/早戻しのスピードは回す角度に比例し、2倍速(*2)、5倍速(*5)、中速(MID)、高速(HIGH)に変化します。



静止画再生

A 本体の STILL キーを押しますと静止画になります。

- STILLキーを一度押すと、デジタルメモリーによる静止画(フィールドスタイル)となり、CAVディスクの場合は、もう一度押しますと、通常の静止画(フレームスタイル)になります。ディスプレイ部と画面には F r m と **FRAME STILL** または F l d と **FIELD STILL** が1秒間表示されます。

B 静止画/コマ送りキーを押しますと、静止画になります。

C ジョグダイヤルを回しますと静止画になります。

- リモコンのジョグダイヤルを使うときは、ジョグキーを最初に押しジョグインジケータを点灯させます。
- 通常の再生に戻るときは、プレイキーを押します。

コマ送り再生

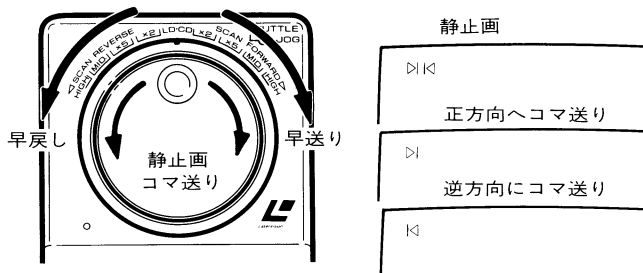
A 静止画にしたあと、静止画/コマ送りキーの▷キーを押しますと押しごとに正方向にコマ送り、◁キーを押しますと、押しごとに逆方向にコマ送ります。

- キーを押し続けると連続的にコマ送ります。
- 音声は出ません。

B ジョグダイヤルを右に回しますと正方向にコマ送り、左に回しますと逆方向にコマ送ります。

- リモコンのジョグダイヤルを使うときは、ジョグキーを最初に押しジョグインジケータを点灯させます。

- 通常の再生に戻るときは、プレイキーを押します。



テレビ放送を見るには

■映像・音声入力端子なしテレビの場合

- 8・9ページの接続例A、Bの接続をしている場合)

1 リモコンのVHF切換キーを押し、本体のディスプレイの“ANT”インジケータを点灯させます。

2 テレビで見たいチャンネルを選びます。

*VHFアンテナは本機を経由してテレビにつながります。

*ディスクを再生中に“ANT”インジケータを点灯させた場合には、画面はテレビ放送に切り換わっていますが、ディスクは再生を続けています。長時間テレビ放送をご覧になる場合は、ディスクを取り出し、本機のPOWERスイッチを切ってください。

■映像・音声入力端子付テレビの場合

1 テレビのチャンネルまたはテレビ/ビデオ切換スイッチを“テレビ”に切り換えます。(テレビの取扱説明書をご参照ください)

見たいチャンネルを選びます。

2 本機のPOWERスイッチを切ります。

ご注意



テレビ放送の電波が弱い地域では、本機の電源を入れたままテレビ放送を見ると、画面にしま模様が出ることがありますが故障ではありません。このような場合は、本機のPOWERスイッチを押して電源を切ってください。

音声や画面表示の切り換え

デジタル/アナログ音声切替について

20cm・30cm CDVやLDのなかには、音声デジタルとアナログの両方で記録され、再生時にそのどちらかを選択できるものがあります。


(ディスクのジャケットの記載をご確認ください)

本機は、デジタル音声で記録されているディスクを再生しますと、自動的にデジタル音声を選択して再生 ( インジケータが点灯) します。アナログ音声を選択するときは、D/A・CXキーを押して  インジケータを消灯させてください。

画面には“ANALOG”が一度表示されます。もう一度D/A・CXキーを押しますとデジタル音声に戻り、画面は“DIGITAL”が表示されます。

●CD、12cm CDVディスクはデジタル/アナログの音声切替はできません。

■デジタル音声付きレーザービジョン・マルチオーディオディスクの再生

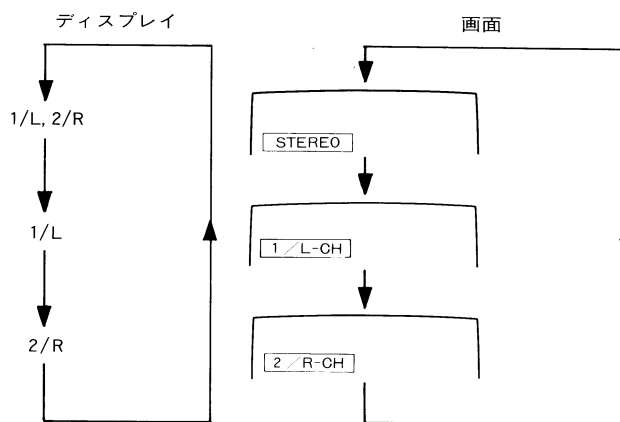
 MULTI AUDIO マークが記載されているデジタル音声付きレーザービジョン・マルチオーディオディスクはデジタル音声とアナログ音声それぞれに異なる内容が記録されています。再生時は音声切替キーとD/A・CXキーの操作を組み合わせ、ご希望の音声を選択してください。

	デジタル音声	アナログ音声
映画、アニメなど	本編の音声 (作品の音声)	サウンドトラック (音楽)
デュアルミュージック	ミュージック 1	ミュージック 2
ステレオ音声多重 カラオケ	カラオケ	アシスタント ボーカル
バイリンガル (二ヶ国)	日本語	英語などの外国語
トライリンガル (三ヶ国)	日本語	1L: 英語などの外国語 2R: (ドイツ語)第2外国語
クワドリリンガル (四ヶ国)	1L: 日本語 2R: 英語などの外国語	1L: (ドイツ語)第3外国語 2R: (フランス語)第4外国語

※ディスクのなかにはアナログ音声のみで記録されたバイリンガルディスクもあります。

音声切替について

本機は電源を入れたときはステレオモード(1/Lと2/Rのインジケータが点灯)に設定されていますが、リモコンの音声切替キーを押すごとに1/L, 2/R(ステレオ)→1/L→2/R→1/L, 2/Rの順に切り換わります。音声多重ディスクやバイリンガルディスクを再生するときなど、必要に応じて切り換えてください。





「音声切替キーによる音声の再生」

表示	VHF OUT端子	AUDIO 端子	
		L	R
1/L, 2/R	1/L, 2/Rのミックス (モノラル)	1/L	2/R
1/L		1/L	
2/R		2/R	

●ディスクトレイを開閉しますと選択したモードはキャンセルされ、自動的にステレオモードに戻ります。

CX NRについて


20cm・30cm CDVやLDのなかには  マークの記載されたものがあります。

このマークはCX NR (CXノイズリダクション) を使って音声記録されていることを示しています。CX NRはS/N比を向上させ、ダイナミックレンジを拡大しますので、雑音の少ない迫力ある再生音を生み出します。(ジャケットの  マークをご確認ください) 本機はCX NRディスクを再生しますとそれを検出し、自動的にCX NRシステムが働き、CXインジケータが点灯します。

また一部ディスクにはCX NR自動検出コードを持っていないディスクがあります。

そのようなディスクを再生する場合は、D/A・CXキーを押して本機のCX NRシステムをONにしてください。

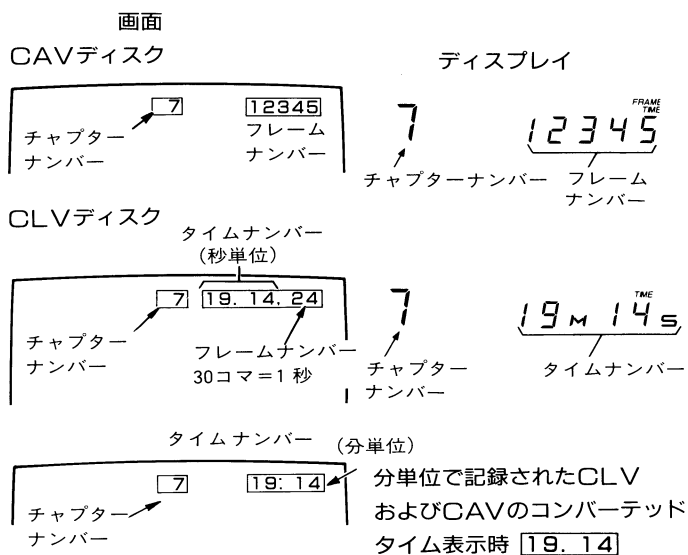
●CX NRが自動的に検出されるディスクは、CX NRをON/OFFにすることはできません。

●  はCBSの登録商標です。

音声や画面表示の切換

画面表示について

再生中に**画面表示キー**を押しますとチャプター/トラック、フレームまたはタイムナンバーが表示され、もう一度押しますと表示が消えます。



●ディスプレイオフ機能について

ディスクトレイが開いているときに**画面表示キー**を押しますと、ディスプレイオフ機能が働き、それ以降の本機の操作状況の画面表示およびブルーバックをさせなくすることができます。

この機能を解除するときは、ディスクトレイが開いているときに再度**画面表示キー**を押してください。また一度電源が切れますとディスプレイオフ機能は解除されます。

●ディスプレイオフにしているときにポーズさせますと、画面には何も表示されませんので、ご注意ください。

表示モードの切り換えについて

再生またはポーズ中に**表示モードキー**を押しますと、キーを押すごとに画面およびディスプレイの表示が下表のように切り換わります。

●画面に表示を出すときは、**画面表示キー**を押してください。

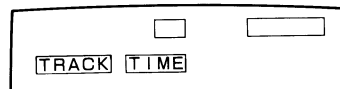
表示モードキー	CD	20, 30cm CDV		LD		
		12cm CDV	CAV	CLV	CAV	CLV (秒)
トラックタイム	トラック	タイム	フレーム	タイム	フレーム	タイム
	タイム	ナンバー	ナンバー	ナンバー		
	トータル	トータル	トータル	トータル	トータル	トータル
リメイン	リメイン	リメイン	リメイン	リメイン	リメイン	リメイン
	リメイン	リメイン	リメイン	リメイン	リメイン	リメイン

※1：LDのCAVディスクでもトータルタイムを表示します。このとき画面にはCONVERTED TIME(変換時間)が表示されます。

※2：12cm CDVのオーディオパート再生中は、CDと同様に表示が変わります。

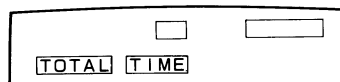
●タイム表示とディスプレイ表示について

トラックタイム



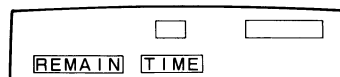
10M 08S

トータルタイム



TOTAL 28M 56S

リメインタイム



REMAN 3M 58S

トラックタイム

チャプター/トラックごとの再生経過時間を表示します。

トータルタイム

ディスクの頭からの再生経過時間を表示します。

リメインタイム

ディスクの再生残り時間を表示します。

●トラックタイム、トータルタイム、リメインタイムが表示されるのはTOCの記録されているディスクに限られます。

●ディスクのなかにはチャプターとトラックの両方が表示されるものがあります。

●本機はLDのCAVディスクでも表示モードキーを押してトータルタイムを表示させることができます。ここで表示される時間はフレームナンバーを演算したコンバーテッドタイム(変換時間)です。再生するディスクによっては実際の演奏時間と異なる場合があります。

メモ

チャプターナンバー(CAV/標準ディスク・CLV/長時間ディスク)

ディスクプログラムの区切りを示します。書物における“章”番号に相当します。

※ディスクのなかにはチャプターナンバーの記録されていないものもあります。

フレームナンバー(CAV/標準ディスク)

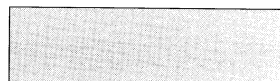
ディスクプログラムのはじめから、1つ1つの画面に連続して付けられている番号です。書物における“ページ”に相当します。

タイムナンバー(CLV/長時間ディスク)





ディスクのはじめからプレイモードで再生した場合の経過時間の表示です。ディスクによって分単位のものや秒単位のものがあります。

本機は秒単位で記録されたCLVディスクの場合は、タイム表示とともにフレームナンバー(1秒=30コマ)を表示します。

ディスクの途中から再生するには



本機は多彩なサーチ(頭出し再生)機能をもっています。ディスクの途中から再生するときは、下表を参照になり目的に合ったサーチ方法をお選びください。また左ページの“表示モードの切り換え”の項もご参照ください。

ディスク		トラックスキップ	チャプタースキップ	トラックサーチ	チャプターサーチ	フレームナンバーサーチ	タイムナンバーサーチ	タイムサーチ			インデックスサーチ
マーク表示								トラック	トータル	リメイン	
CD	 CLV	○		○				○	○	○	○
CDV	 オーディオパート	○		○				○	○	○	○
	ビデオパート	○	○	○	○	○ ^{*1}	○	○	○	○	○
CDV-LD	 GAV	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	CLV	○	○	○	○	○ ^{*1}	○	○	○	○	○
LD	 GAV		○		○	○	○ ^{*2}				
	CLV		○		○	○ ^{*1}	○				
キー操作の概要		+/- キー		テンキー		フレーム・タイム/インデックスキー →テンキー→プレイキー		フレーム・タイム/インデックスキー→表示モードキー →テンキー→プレイキー			

*1 秒単位で記録された CLV ディスクでは秒の位の次に2桁のフレームナンバーを指定することができますので、GAV ディスクと同じようにフレームナンバーサーチをすることができます。

*2 本機ではLDのGAVディスクでもタイムナンバーサーチをすることができます。

- CDV LD ディスクにはチャプターとトラックの両方が記録されています。チャプターナンバーには0があり、トラックには0は存在しません。(トラック1にはチャプター0とチャプター1が含まれます)
- CLV ディスクでのタイムナンバーとトータルタイムはほぼ対応しています。

チャプター/トラックスキップ

次のチャプター/トラックの頭まで飛んで(スキップ)再生をスタートしたり、再生中のチャプター/トラックの頭に戻って再生を再開したり、前のチャプター/トラックの頭から再生をすることができます。

- 再生中にスキップしますと、静止画となり音声は消えます。

■次のチャプター/トラックの頭にスキップするときは、“+”キーを押します。

繰り返して押しますと、押した回数だけスキップします。ディスクに記録されているチャプター/トラックナンバー以上にスキップしますと“END”表示後ストップ状態になります。

■再生中のチャプター/トラックの頭に戻って再生する場合は“-”キーを押します。

一回押しますと、そのチャプター/トラックの頭に戻り、もう一度押しますと一つ前のチャプター/トラックの頭に戻り再生を開始します。

- ポーズ中やストップ状態でもチャプター/トラックスキップすることができます。指定後にプレイキーを押します。
- 繰り返して押しますと、前の前のチャプター/トラックへスキップすることができます。
- プログラム再生中にキーを押しますと、プログラムされた次(または前)のチャプター/トラックにスキップします。

- チャプター/トラックの記録されていないディスクの場合はオートユーザーインデックスナンバー(●P.31)に従ってスキップすることができます。

チャプター/トラックサーチ

任意のチャプター/トラックから再生を開始したり、再生中に任意のチャプター/トラックに変更することができます。

- サーチ中は静止画となり、音声は出ません。

■テン(1~0,+10)キーで頭出しをするチャプター/トラックを指定します。

選択されたチャプター/トラックの頭から再生がスタートします。

- 指定したフレームナンバー/トラックナンバーがディスクに無い場合は、サーチ後ストップになります。
- ポーズ状態でサーチをしますと、指定したチャプター/トラックの頭でポーズになります。
- チャプター/トラックの記録されていないディスクの場合はオートユーザーインデックスナンバー(●P.31)を使ってサーチすることができます。

12:チャプター12をサーチするときは

- ①+10キーを押します。
- ②テンキーの2を押します。

ディスクの途中から再生するには

CAV フレームナンバーサーチ

CAV ディスクは、指定したフレームナンバーから再生を開始することができます。

- サーチ中は静止画となり、音声は出ません。
- フレームナンバーの表示されないディスクではフレームナンバーサーチはできません。

1 フレーム・タイムキー^{インプット}を押し、画面にフレームナンバー入力表示を出します。

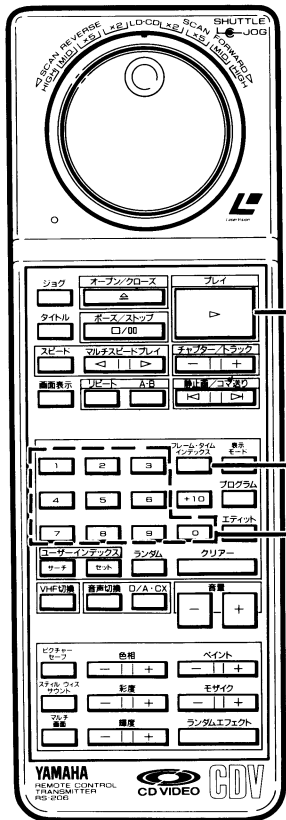
2 テン(1~0)キーでフレームナンバーを指定します。

フレームナンバーを変更するときは、クリアーキーを押してから新しいフレームナンバーを指定しなおしてください。
またクリアーキーを2回続けて押すか、フレーム・タイムキーを押しますとフレームナンバーサーチを解除することができます。

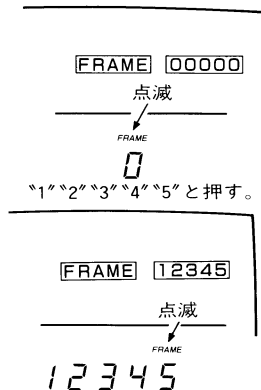
3 プレイキーを押します。

- サーチした画面を静止画にするときは、プレイキーの代わりに静止画/コマ送りキー、STILL キーを押します。またマルチスピードプレイキーを押しますと、設定されていたスピードで再生します。

- 再生中にポーズ・ストップキーを押してストップした場合は、フレーム・タイムキーを押し、フレームナンバーまたはタイムナンバーを表示させてからプレイキーを押しますと、さきほどポーズ・ストップキーを押してストップさせた位置から再生をスタートすることができます。



フレームナンバーサーチ
例) フレームナンバー12345
から再生する



CLV タイムナンバーサーチ、フレームナンバーサーチ

ディスクの任意の時間を指定し、そこから再生を行うことができます。ディスクによっては時間表示が「分」単位のものや「秒」単位のものがあります。「分」単位のディスクでは一分間隔のタイムサーチとなり、秒単位で記録されたディスクでは一秒単位のタイムサーチに加えて、フレームナンバーを指定しますと、指定した時間の指定したフレームから再生がスタートします。

- 指定したタイムナンバーがディスクに収録されているナンバーをオーバーしますと、サーチ後ストップになります。
- サーチ中は静止画となり、音声は出ません。
- タイムナンバーの表示されないディスクではタイムナンバーサーチはできません。
- CAVのLDディスクはコンバーテッドタイムを使ってタイムナンバーサーチをすることができます。

1 フレーム・タイムキー^{インプット}を押し、画面にタイムナンバー入力表示を出します。

2 テン(1~0)キーでタイムナンバーを指定します。

■フレームナンバーの指定のしかた
テンキーでタイムナンバーを指定した後、続けて2桁のフレームナンバーを指定します。

例：24分のフレーム15を指定するときは……
2、4、0、0、1、5の順にキーを押します。

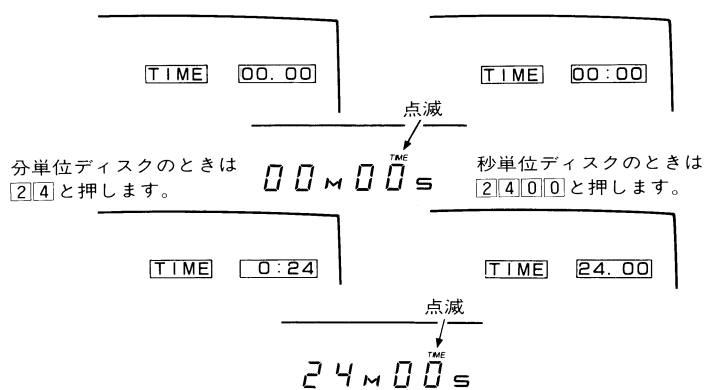
- フレームナンバーを指定しない場合は00として再生されます。

タイムナンバーを変更するときは、クリアーキーを押してから新しいタイムナンバーを指定しなおしてください。
またクリアーキーを2回続けて押すか、フレーム・タイムキーを押しますと、タイムナンバーサーチを解除することができます。

3 プレイキーを押します。

- 12cm CDVのビデオパート再生中に、ビデオパートの時間をオーバーした時間を指定しますと、オーディオパートの1曲目を再生します。

タイムナンバーサーチ
例) 24分から再生する
分単位のディスクの画面 秒単位のディスクの画面



タイムサーチ

■トラックタイムサーチ

指定したチャプター／トラックの指定した時間から再生を開始することができます。

- 表示モードキーを押してもトラックタイムが表示されないディスクではトラックタイムサーチはできません。
- 指定したトラックタイムが、そのトラックに無い場合は次のトラックの頭から再生されます。
- 12cmCDVのビデオパート再生中に同様の指定をしますと、オーディオパートの1曲目の再生がスタートします。

■トータルタイムサーチ

ディスクの頭からの再生経過時間を指定して、そこから再生を開始することができます。

- 表示モードキーを押してもトータルタイムが表示されないディスクではトラックタイムサーチはできません。
- 12cmCDVのビデオパート再生中は、ビデオパートの頭からのトータルタイムサーチとなります。
- 12cmCDVではビデオパートからオーディオパートへ、またはオーディオパートからビデオパートへパートをまたいだトータルタイムサーチはできません。
- 12cmCDVのオーディオパートの総再生時間をオーバーしたトータルタイムを指定しますと、ストップ状態になります。

■リメインタイムサーチ

ディスクの再生残り時間を指定して、そこから再生を開始することができます。

- 表示モードキーを押してもリメインタイムが表示されないディスクではトラックタイムサーチはできません。
- 12cmCDVのビデオパートもしくはオーディオパートを再生中のリメインタイムサーチは、それぞれのパート内でのサーチとなります。

■タイムサーチのしかた

- トラックタイムサーチをするときは、前もってサーチするチャプター／トラックをテンキーで選択します。

1 フレームタイム・インデックスキーを2回押します。

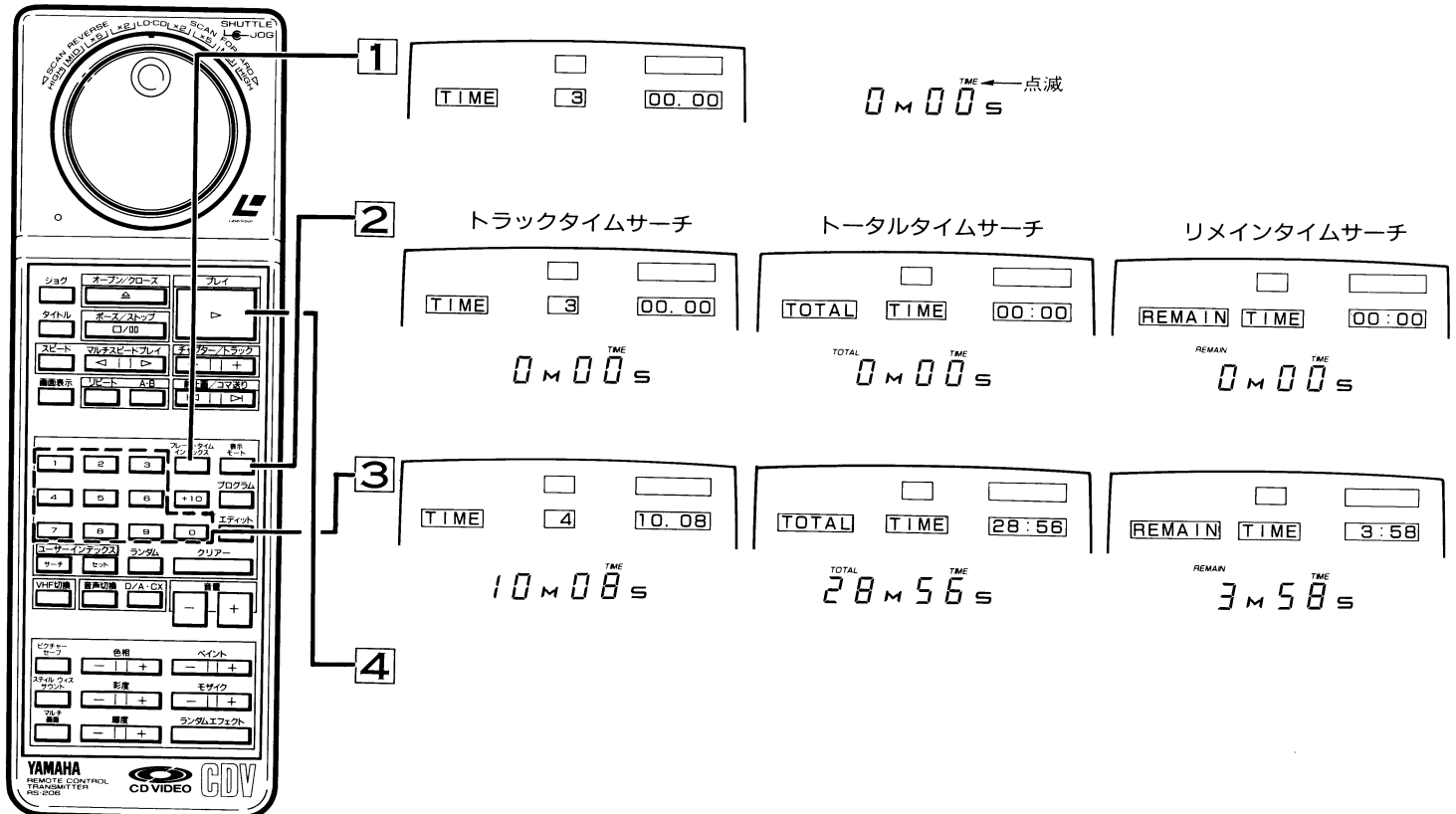
- キーを一度押すとINDEXが表示されます。もう一度押してTIME表示にしてください。
- ディスプレイの“TIME”が点滅します。

2 表示モードキーを押し、サーチするモードを選択します。

3 テン(1~10)キーでサーチする時間を指定します。

時間を変更するときは、クリアキーを押してから指定をやりなおしてください。
また、クリアキーを2回続けて押しますと、タイムサーチを解除することができます。

4 プレイキーを押します。



ディスクの途中から再生するには

インデックスサーチ

- インデックスナンバーとは
クラシック音楽など、ひとつの曲がいくつかの楽章によって構成されている場合、各楽章ごとにインデックスというナンバーがつけられているディスクがあります。そのようなディスクはインデックス単位で再生をスタートさせることができます。
- インデックスナンバーが記録されているディスクには **IN:DEX** マークがディスクのジャケットに記載されています。お確かめください。

- 1 テン(1~0、+10)キーで再生するトラックを指定します。
- 2 フレーム・タイム/インデックスキーを押します。
- 3 テン(1~0、+10)キーを押してインデックスナンバーを指定します。

- 選択したトラックに記録されているインデックスナンバーより大きな数字を指定しますと、次のトラックを再生します。また12cm CDVでオーディオパートの最後のトラックに同様の指定をしますと、ストップになります。
- インデックスの記録されていないディスクの再生中も“1”が表示されます。
- インデックスナンバーが記録されていないディスクに“2”以上のインデックスナンバーを指定しますと次の曲から再生します。

インデックスナンバーを変更するときは、クリアーキーを押してから新しいインデックスナンバーを指定しなおしてください。また、インデックスキーを2回続けて押すか、クリアーキーを2回続けて押しますと、インデックスサーチモードは解除されます。

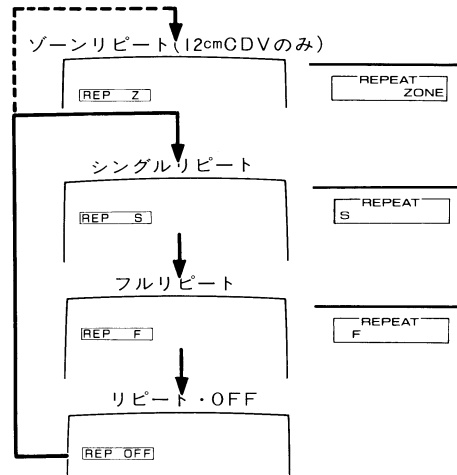
繰り返して再生す

ディスクの片面または再生したい箇所だけを繰り返して演奏するリピート再生ができます。

- シングルリピート(REPEAT S) : 1チャプターまたは1トラックを繰り返して再生します。
- フルリピート(REPEAT F) : ディスクの片面全部を繰り返して再生します。
- A-Bリピート(REPEAT A-B) : 指定した2点間を繰り返して再生します。
- ゾーンリピート(REPEAT Z) : 12cmCDVのみビデオパートまたはオーディオパートの単位で繰り返して再生します。
- プログラムリピート : プログラムを繰り返して再生します。
- ランダムリピート : ランダム再生を繰り返して再生します。

■リピートモードの切り換えについて

リピートキーを押すごとにリピート機能が切り換わります。

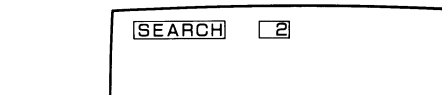


例) トラック2のインデックスナンバー3から再生を始めるときには

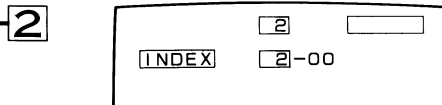
1 曲目		2 曲目		
インデックス 1	インデックス 2	インデックス 1	インデックス 2	インデックス 3

1 この場合は“2”です。

ここから演奏をはじめます。



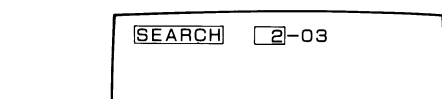
2



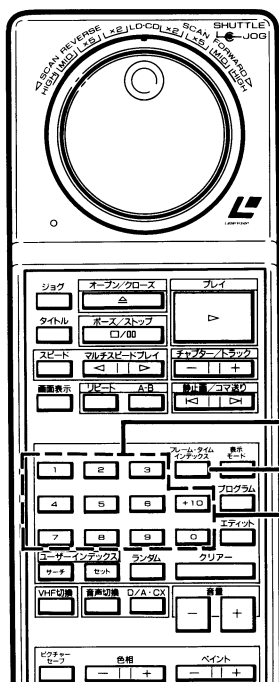
点減
2 00 M S

3 この場合は“3”です。

“3”を押しますと、自動的にインデックスナンバー3のサーチを開始します。



2 03 M S



るには

■シングルリピート(REPEAT S)

リピートキーを押しますと、現在再生しているチャプター（またはトラック）を繰り返し再生します。

- チャプターナンバーの記録されていないディスクではユーザーインデックス単位でのリピートになります。

■フルリピート(REPEAT F)

ディスクの片面を繰り返し再生します。

■A-Bリピート

- プログラム再生中はA-Bリピートはできません。

- 1 繰り返したい箇所になりましたらA-Bキーを押します。
A点が指定されます。



- 2 繰り返しを終えたい箇所になりましたら、もう一度A-Bキーを押します。
B点が指定され、下のような表示が現れた後、A-B間を繰り返し再生します。

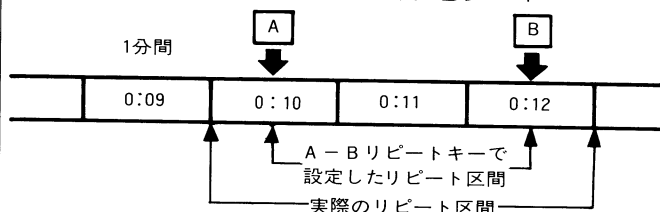


ご注意

CLV/長時間ディスクのリピート区間について

CLV/長時間ディスクのリピートは、ディスクに記録されたタイムによって行なわれます。ディスクは「分」を最小単位として記録されたものと「秒」単位まで記録されたものがあります。A-Bリピートを行なう場合、「秒」まで記録されたディスクでは再生時にA-Bキーを押した点(場面)と実際のリピート区間およびサーチ点(場面)はディスクプログラム上では一致しますが、分単位で記録されたディスクでは必ずしも一致しません。

例)「分」単位で記録されたディスクでのA-Bリピート



「分」単位でタイム記録されたディスクでの最短のリピート区間は1分間です。同一の「分」でA-Bキーを押すと1分間のリピートとなります。

■ゾーンリピート…12cmCDVのみ可能です

12cmCDVはビデオパートとオーディオパートの各パート単位でリピートすることができます。

- 1 12cmCDVをセットします。
- 2 ビデオパートをゾーンリピートするときは、ストップ時やビデオパート再生中にリピートキーを押します。
- 3 オーディオパートをゾーンリピートするときは、オーディオパート再生中にリピートキーを押します。

■プログラムリピート

プログラム再生中はプログラムのフルリピートができます。

■ランダムリピート

ランダム再生中にリピートキーを押しますと、一度決められたランダム順に従って繰り返し再生を続けます。

■リピートを解除するには

リピートキーを押して画面にREP OFFを表示させるか、ディスプレイのREPEAT表示を消灯させますと、すべてのリピートが解除されます。

- シングルリピート、ゾーンリピート、A-Bリピート再生中にプログラムキーまたはランダムキーを押しますと、各リピートは解除されます。

演奏順を変えて再生するには

プログラム再生

最大20までのチャプター／トラックを選択し、順番を並び変えて再生することができます。

- チャプターナンバーの記録されていないディスクではプログラム再生することはできません。
- 1度だけプログラムポーズを入力することができます。
プログラムポーズが入力されていますと、ポーズ後のチャプター／トラックを頭出しして自動的にポーズになります。
- ディスクにないチャプター／トラックを指定しても、画面には“LIMIT”が表示され、入力できません。

1 プログラムキーを押します。

2 テン(1~0、+10) キーでプログラムするチャプター／トラックを選びます。

- チャプター番号を入力中に訂正するときは、チャプター／トラックキー(+、-)で訂正する箇所を指定し、新しいチャプター番号をテンキーで指定します。
- 画面およびディスプレイにはメモリーが完了するごとにプログラムの総再生時間が表示されます。(TOCのあるディスクのみ)

3 プレイキーを押します。

- プログラム再生中にチャプター／トラックキー(+、-)を使用すると、前後のプログラムを頭出しして再生するチャプタースキップをすることができます。
- 順番を並び変えたプログラムの再生時は、自動的に4秒間の曲間が挿入されます。

■一度プログラムをセットしたあとの変更、追加、削除、解除のしかた

●変更のしかた

- 1 プログラムキーを押し、プログラム表示にします。
- 2 チャプター／トラックキーで変更したいプログラムを選び、新しいチャプター／トラックナンバーをテンキーで指定します。

●追加のしかた

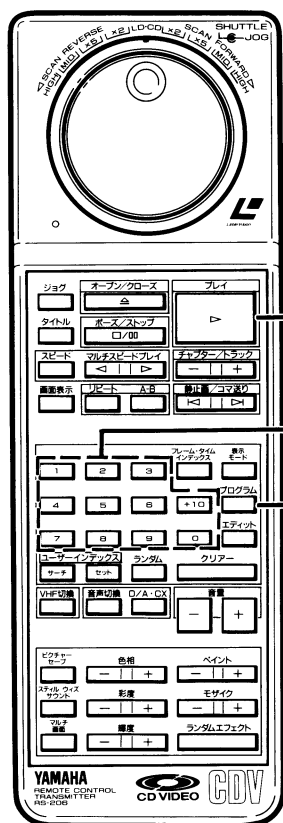
- 1 プログラムキーを押し、プログラム表示にします。
- 2 チャプター／トラックキーの“+”を押し、▷マークを空枠に移動します。
- 3 テンキーで追加したいチャプターまたはトラック番号を入力します。(2、3を繰り返します)。

●削除のしかた

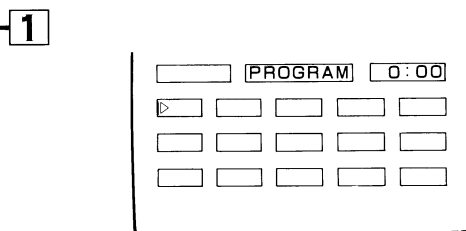
- 1 プログラムキーを押し、プログラム表示にします。
- 2 チャプター／トラックキーで削除したいプログラムを選び、クリアキーを押しますと、そのチャプターはプログラムから削除されます。

●プログラムの解除(取り消し)のしかた

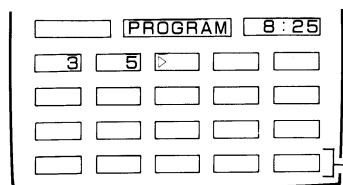
- 1 プログラムキーを押し、プログラム表示にします。
- 2 クリアキーを押し続け画面(およびディスプレイ)のPROGRAM表示が消えまると、プログラム再生は解除されます。
 - プログラムはディスクトレイを開閉したり、一度電源を切りますと解除されます。



例) チャプター3、チャプター5の順番でプログラム再生するには

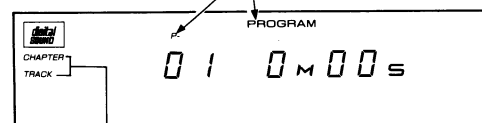


2 この場合は3、5とキーを押します。

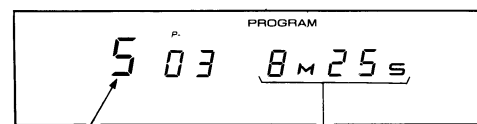


3

ディスプレイの“PROGRAM”が点灯します。



どちらかが点灯します。



点灯後消灯

プログラムの総再生時間

プログラム16~20のときに現れます。

エディットプログラムのしかた

ディスクのプログラムをカセットテープなどにダビングをするときはエディットプログラム機能を使いますと、カセットテープのA面の録音時間に合わせてポーズが本機に自動的に設定されますので便利です。

●TOCの無いディスクではエディットプログラムをすることはできません。

- 1 ディスクをセットしたあと、ポーズ/ストップキーを2回押し、ストップにします。
- 2 エディットキーを押します。
- 3 使用するテープの長さをテンキーで入力します。
例：46分テープ、C-46を使用するときはテンキーの“4”“6”と押します。
- 4 エディットキーを押します。
 - ディスクの頭の曲から順にテープのA面、B面へのプログラムが自動的に行われ、A面、B面の録音時間表示します。
 - A面とB面の間には自動的にポーズが設定されます。

●A面の最後のプログラム曲がすべてテープに録音できない場合はB面の1番目に再度プログラムされます。

このプログラムを再生しますと、A面の最後のプログラム曲は時間がくると自動的にフェードアウトします。

●デジタル出力端子を使って接続している場合はフェードアウトしません。

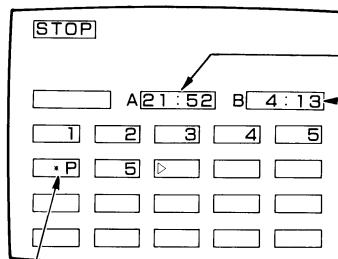
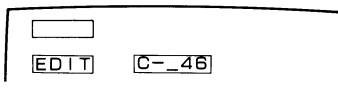
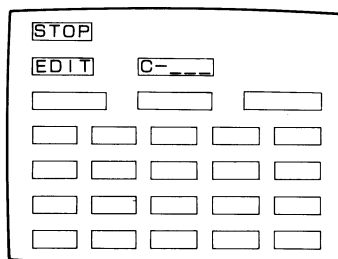
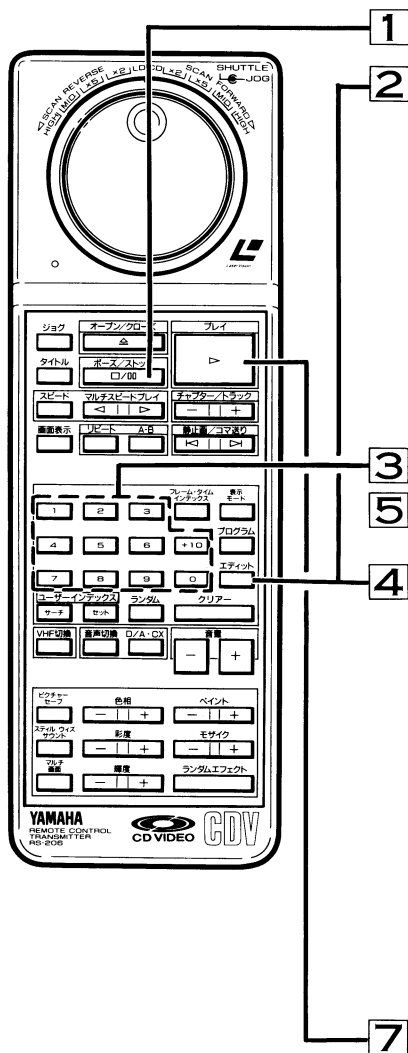
5 ディスクの全曲をプログラムしても、テープの録音時間に余裕がある場合は、合計20曲までプログラムの追加をすることができます。

●追加をするときは、B面の録音時間にご注意ください。

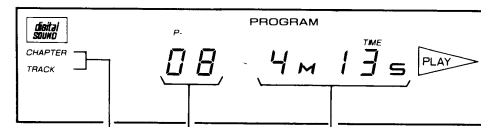
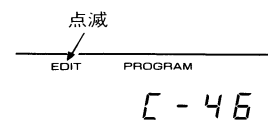
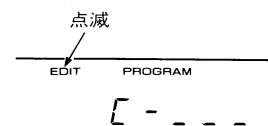
6 プログラムを変更する場合は“プログラム再生”の項に従って変更することができます。

●プログラムを変更した場合は、フェードアウトしません。

7 プレイキーを押します。



* P はポーズを表示



いずれかが点減
B面の再生時間
プログラム8の
入力待ちを示します。

画面に変化を加えて再生するには



ピクチャーセーブ

ストップ時やディスクトレイが開いているときに、指定した静止画を再生させる機能です。

例えば、LDからCDなどにディスクを変えたときも、ピクチャーセーブをしておきますと、静止画を再生し続けますのでBGVとして活用することができます。

1 静止画再生したい画面になりましたら、ピクチャーセーブキーを押します。

- 本体のPICTURE SAVEキーのインジケータが赤く点灯し画面が予約されたことを示します。

2 再生が終了しますと、画面はメモリーした箇所の静止画再生になります。

- インジケータはピクチャーセーブ再生中を示す緑色に変わります。
- ディスクをセットしなおしても静止画再生を続けます。通常の再生に戻すときはもう一度ピクチャーセーブキーまたはクリアキーを押します。
- セーブされた画面を再生中は、画面には画面表示キーや表示モードキーを押しても、表示は行われません。マルチディスプレイの表示をご参照ください。(オートピクチャーセーブ時を除く)
- セーブした画面を変更する場合は、ピクチャーセーブキーを押し、インジケータを消灯させ、希望の箇所再度ピクチャーセーブキーを押します。
- オートピクチャーセーブについて
12cm CDVでは再生がビジュアルパートからオーディオパートに移ると、自動的にランダムに選択された静止画が再生されます。オートピクチャーセーブはストップ時やビデオパートをあらためて再生しますと解除されます。

マルチスピード再生

ジョグダイヤルを使いますと31段階の再生スピードを選択することができます。

● スピードの種類

ハイスピード再生：*1.25、1.50、1.75、……、3.00、5.00

標準スピード：*1.00、

スローモーション再生：0.95、0.90、0.85、0.80、0.75……0.01

- マルチスピード再生中は*0.50以上のスピードを指定しますと、指定したスピードに応じた音声再生されます。

1 スピードキーを押します。

- ジョグインジケータが点灯していることを確認してください。

2 ジョグダイヤルを回して再生スピードを選択します。

3 正方向に再生するときはマルチスピードプレイキーの▶キーを、逆方向に再生するときは◀キーを押します。

スティルウィズサウンド再生

再生中にスティルウィズサウンドキーを押しますと、画面が静止画になり音声はそのままに演奏を続けます。

- 静止画はスティルウィズサウンドキーを押すごとに、再生経過時間に応じた静止画に置き換えられます。
- 通常の再生に戻すときは、クリアキーを押します。

ストロボ再生

スティルウィズサウンド再生中は、ジョグダイヤルで選択した時間間隔に従って次々に静止画を置き換えるストロボ再生になります。

1 スティルウィズサウンドキーを押します。

- ジョグインジケータが点灯していることを確認してください。

2 ジョグダイヤルでストロボの時間間隔を指定します。

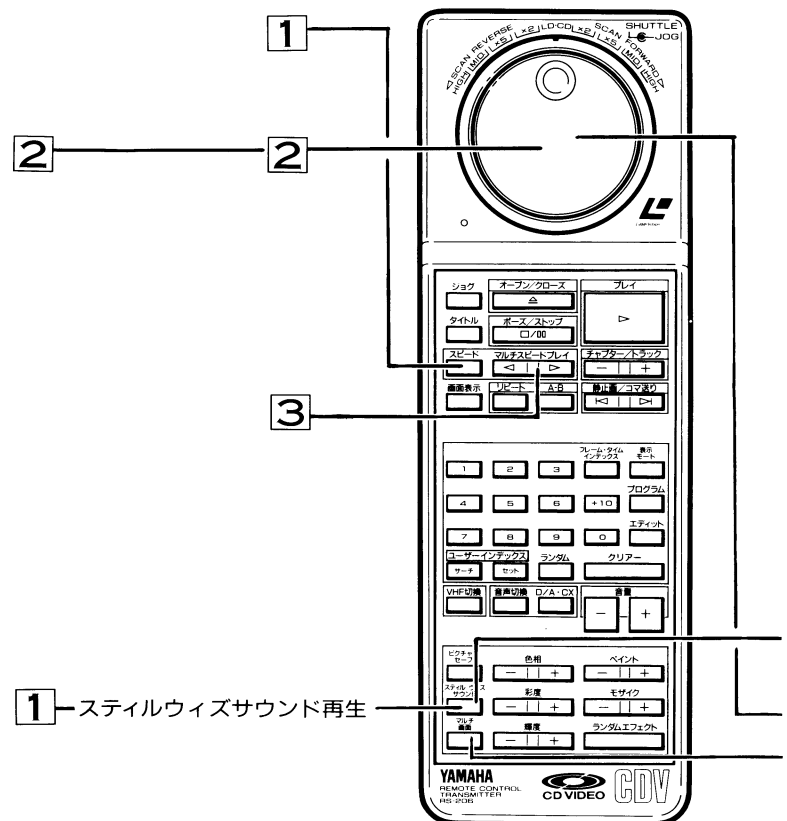
- 通常の再生に戻すときは、クリアキーを押します。

● 時間間隔の種類

SS(スティルウィズサウンド)、3SEC*、3SEC 1SEC*、1SEC……
1/4*、1/4、1/2、1/1(S.S)

- *の表示されるスピードでは、黒画面に、設定した時間間隔で静止画が挿入されます。(黒ストロボ再生)

ストロボ再生 マルチスピード再生



マルチ画面

マルチ画面キーを1回押しますと、画面は2分割画面になり、もう一度押しますと4分割画面になります。(下図A参照)

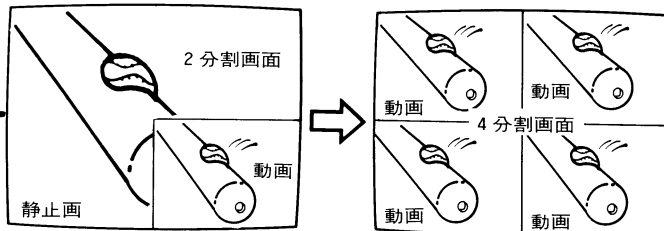
もう一度押す、またはクリアーキーを押しますと、通常の画面に戻ります。

- マルチ画面にはモザイクを除いた4種類のエフェクトを付けることができます。
- マルチ画面では画質が多少荒くなります。

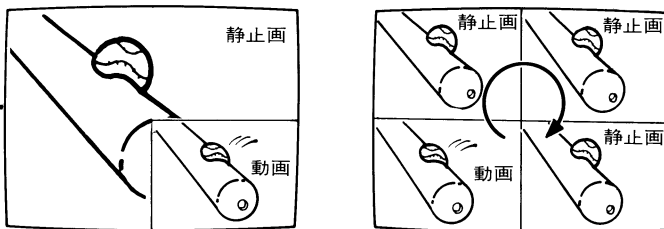
応用操作

- ①マルチ画面再生中にスティルウィズサウンドキーを押しますと、押すごとに2分割画面では、大画面の静止画が置き換わり、4分割画面では動画の位置が変わります。(下図B参照)
- ②マルチ画面再生中にコマ送りや早送り、早戻し(●P.19)を行いますと、2分割画面では小画面の静止画が次々に変化し、4分割画面では、進む方向に対応して時計回りや、反時計方向回りに静止画が変化していきます。
ストロボ再生(●P.29)を行った場合も同様に、ストロボの間隔に従い静止画が次々に変化します。(下図C参照)
(黒ストロボ再生はできません)

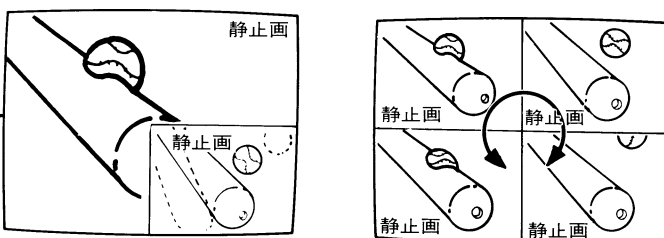
図A マルチ画面キーを押しますと



図B スティルウィズサウンドキーを押すと



図C コマ送り、ストロボ再生などを行うと



スティルウィズサウンド中にマルチ画面キーを押しますと画面は2分割(小画面は動画)、もう一度キーを押しますと3分割画面(次の小画面が動画、前の小画面は静止画)、もう一度押しますと、スティルウィズサウンドの画面に戻ります。

画質変化

本体のテンキーで画質を変化させるときは、テンキーの機能を切り換えるためEFECTキーを押し、キーのインジケーターを点滅させます。

- リモコンでは該当するキーでダイレクトに操作できます。
- ピクチャーセーブの画面や、静止画、コマ送り画面などもエフェクトを付けることができます。
- タイトル文字にエフェクトを付けることはできません。
- ヒュー、クロミナンス、ルミナンス、ペイント、モザイクを同時に使うことはできません。
- 各エフェクトはクリアーキーを押しますとダイレクトに解除することができます。

●ヒュー(色相)

色相を変えます。例えば空の色を赤くしたり、緑色にしたりすることができます。

+ (本体: 1) キーを押すごとに3段階の変化をします。- (本体: 6) キーを押すごとに1段階づつ元に戻ります。

●クロミナンス(彩度)

色の濃さを変えます。

通常の彩度"0"から+(2)キーと-(7)キーで上下2段階ずつ調整することができます。

●ルミナンス(輝度)

画面の明るさを変えます。

通常の輝度"0"から+(3)キーと-(8)キーで上下4段階ずつ調整することができます。

●ペイント(彩色)

写真のポジとネガを反転したような、ハイレゾリューション効果をつけることができます。

+ (4) キーを押すごとに3段階に変化をします。- (9) キーを押すごとに1段階づつ元に戻ります。

●モザイク

ぼかしとして使われる手法です。

モザイクは+(5)キーを押すごとに4段階に大きさが変化します。

- (0) キーを押すごとに1段階づつ元に戻ります。

- モザイクとマルチ画面を同時に使うことはできません。

■ランダムエフェクト

ランダムエフェクトキーを押しますと、5種類のエフェクトをランダムに加味した画面で再生することができます。ランダムエフェクトはもう一度ランダムエフェクトキーまたはクリアーキーを押しますと解除されます。

ユーザーインデックスサーチ

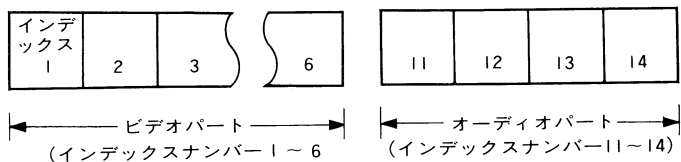
本機はディスクにあらかじめ記録されているインデックスナンバーの他に、再生中のあらゆるディスクの任意の位置に2～20までのユーザーインデックスナンバーを登録することができます。登録後はユーザーインデックスナンバーを使って、そこから再生を開始したり、ユーザーインデックスナンバーを使ったプログラム再生やリピート再生をすることができます。“ユーザーインデックス活用のためのヒント”をご参照になり、ユーザーインデックスをご活用ください。

■オートユーザーインデックス

- 本機は、ディスクをセットしますと、ディスクの種類に応じたユーザーインデックスナンバーが自動的に割り付けられます。下表を参照ください。
- チャプター/トラックナンバーの記録されないディスクをセットしますと、自動的にオートユーザーインデックスナンバーがプログラムカレンダーに表示されます。
- ユーザーインデックスナンバーは一度電源を切るかオープン/クローズキーを押すと解除されます。

ディスクの種類		1インデックスの単位
CD		5分間隔
12cmCDV	ビデオパート	1分間隔
	オーディオパート	5分間隔 *
20、30cm	CAV	5000フレームごと
CDV、LD	CLV	5分間隔

*12cmCDVでは



■ユーザーインデックス活用のためのヒント

- ディスクの概要をより早く知ることができます
ディスクをセットしますと自動的にオートユーザーインデックスナンバーが割り付けられますので、ユーザーインデックスサーチキーを押し、ユーザーインデックスモードで再生しながら+キーを押しますと、キーを押すごとに画面が切り替わります。
- フレームナンバーサーチ/タイムナンバーサーチの省力化ができます
同じ画面をたびたび呼び出す場合には、その画面をユーザーインデックス登録しておきますと、あとはテンキーでユーザーインデックスナンバーを指定するだけで、簡単にしかも正確に同じ画面を呼び出すことができます。
- 静止画の比較再生ができます
静止画面をスタイルキーで選び、ユーザーインデックスナンバー

を登録しておきますと、あとはテンキーでユーザーインデックスナンバーを指定するだけで、あたかも写真を撮ったように静止画が再生されます。19枚までの静止画を再生することができます。

●区間リピートのスタートおよびストップ位置の微調整ができます。

スタートおよびストップの位置を微調整することができますので2点間を正確に繰り返して再生する必要があるときに威力を発揮します。

- 1 開始点(終了点)をユーザーインデックスサーチし、スタイルキーを押します。
- 2 ジョグダイヤルを使って開始点(終了点)を微調整します。
- 3 調整が終了しましたら呼び出したときと同じユーザーインデックスナンバーを再登録し、以前のナンバーを更新します。

●複数区間のA-Bリピートができます

- 1 リピートしたい区間の開始点、終了点のすべてにユーザーインデックスナンバーを登録します。
- 2 ユーザーインデックスサーチをして再生する区間を選びます。
- 3 シングルリピートをしします。
- 4 別の区間をリピートするときは、その区間のユーザーインデックスサーチをし、シングルリピートします。

●エフェクトも同時に登録することができます。

ユーザーインデックスナンバーの登録時には、そのときのエフェクトの状態も一緒に記憶されますので、ダビング時やリピート時に確実にエフェクトを付けることができます。

●区間再生ができます(9区間プログラム再生)

ユーザーインデックスナンバーを使ってプログラム再生をすることができますので、見たい、聞きたい場面を組み合わせる新しいストーリーやレッスンに活用することができます。

- 1 開始点、終了点のすべてにユーザーインデックスナンバーを登録します。
- 2 開始点のユーザーインデックスナンバーを使ってプログラムをセットします。プログラムのしかたは27ページをご参照ください。
- 終了点が別の区間の開始点と一致している場合は、プログラム再生できる区間数は9区間以上可能です。

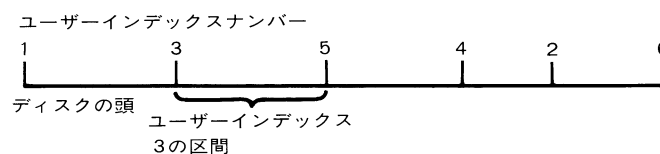
ご注意

- ユーザーインデックスのときの区間は、指定したユーザーインデックスナンバーから、ユーザーインデックスナンバーの数値にかかわらず、次に登録されたユーザーインデックスナンバーの間になります。

例えば

下記のように登録されていますと

ユーザーインデックス3の区間は、ナンバー3と4の間ではなく3から5の間になります。



●プログラムカレンダーについて

ユーザーインデックスナンバー登録時は、対応したプログラムカレンダーが点灯しますが、例えばナンバー6を登録後にナンバー2を登録しますと、プログラムカレンダーは2から6まですべて点灯します。また、例えばナンバー20を1箇所だけ登録し、ナンバー1をサーチしますと1から20のすべてのプログラムカレンダーが点灯します。

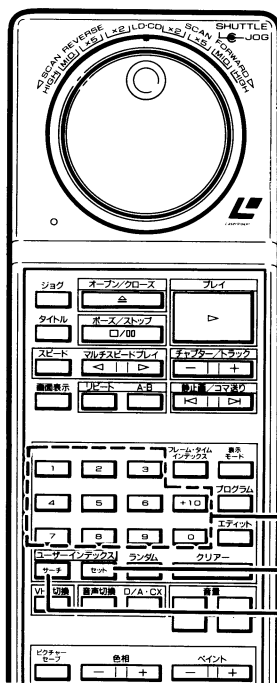
したがってプログラムカレンダーが点灯していても、ユーザーインデックス登録をしていないナンバーをサーチしますとストップになります。

■ユーザーインデックスの登録のしかた

- 1 エフェクト画面を登録する場合は事前にエフェクトの操作をしてください。(●P.29)
- 2 テンキーでユーザーインデックスナンバーを指定します。
 - ナンバー1はディスクの頭に自動的に登録されていますので指定することはできません。
 - ユーザーインデックスを登録しますと、オートユーザーインデックスは自動的にすべて解除されます。
- 3 1、2の手順を繰り返しますと、19箇所までユーザーインデックスを登録することができます。

■ユーザーインデックスサーチのしかた

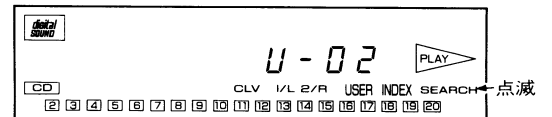
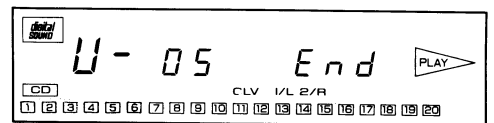
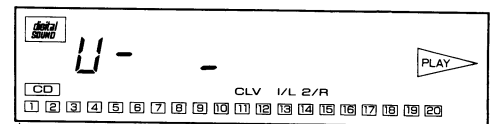
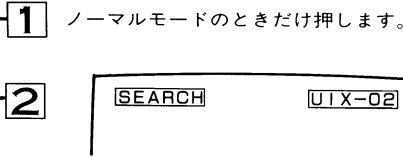
- 1 ユーザーインデックスサーチキーを押します。
 - USER INDEXインジケータを点灯させます。すでに点灯している場合はサーチキーを押す必要はありません。
- 2 サーチするユーザーインデックスナンバーをテンキーで指定します。
 - サーチ後、指定したユーザーインデックスナンバーから再生がスタートします。(登録されたときのエフェクトの状態も再現されます)
 - プログラムカレンダーはサーチされた番号に応じて消灯します。
 - 登録されていないユーザーインデックナンバーを指定しますとサーチ後ストップになります。
 - 12cmCDVでオートユーザーインデックスナンバー7～10をサーチするとオーディオパートの1曲目(ユーザーインデックス11)から再生がスタートします。



ユーザーインデックスの登録のしかた



ユーザーインデックスサーチ



タイトルの作成のしかた

本機のタイトル作成機能を使いますと、ビジュアルソースのダビングの際にオリジナリティにあふれたタイトルを付加することができます。

- タイトルを録画するときは、事前に試し録画されることをおすすめします。
- タイトルは21字×7行の範囲で作成することができます。本機で使える文字の種類は下記の通りです。

!		#	◁	▷	&	'	()
*	+	,	-	.	/	:	:	<
=	>	?	(スペース)	0	1	2	3	4
5	6	7	8	9	A	B	C	D
E	F	G	H	I	J	K	L	M
N	O	P	Q	R	S	T	U	V
W	X	Y	Z	◁	▷	年	月	日

■タイトル作成のための準備

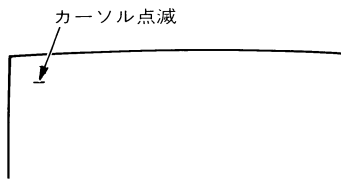
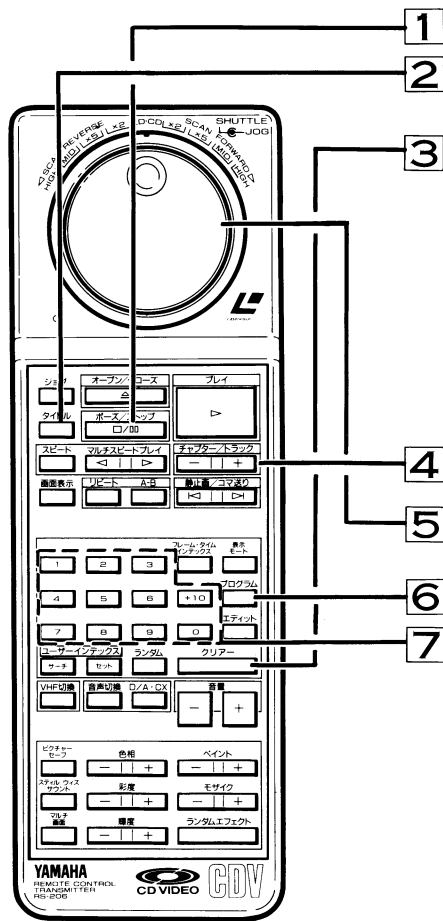
- 1 ポーズ/ストップキーを2回押し、ストップにします。またはディスクをセットせずにディスクトレイを閉めます。(スタンバイ状態)
- 2 タイトルキーを押します。本体のタイトルキーが点灯します。
- 3 クリアキーを押しWELCOME~の文字を消します。

■タイトル作成

- 4 チャプター/トラックキーで文字の位置を決めます。
 - エディットキーを押しますと改行します。
 - 2,4,6行目の文字は行の頭で表示モード(DISPLAY MODE)キーを押しますと2倍の大きさになります。
 - 5 ジョグダイヤルを回し文字を選択します。
 - +10キーを押しますと、枠付き文字になります。
 - 6 文字を決定するときはプログラムキーを押します。
 - キーを押しますとカーソルが右に移動します。
 - 7 テンキーの1~9で背景色を選ぶことができます。
 - タイトルをスーパーインポーズ(文字のみ背景画に重ね合わせる)ときは0キーを押します。
- 背景色について
- | | |
|------------|-----------------|
| 1…… ダークグレイ | 6…… グリーン |
| 2…… ライトグレイ | 7…… ブラウン |
| 3…… ダークブルー | 8…… マゼンタ |
| 4…… ブルー | 9…… レッド |
| 5…… ライトブルー | 0…… (スーパーインポーズ) |

※色調はご使用になるモニターによって多少異なることがあります。

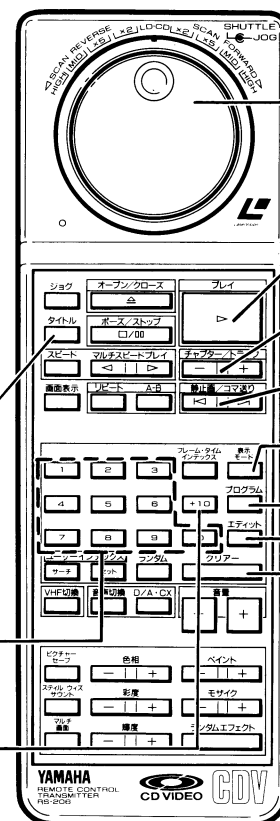
タイトル作成時のキーの機能



タイトル作成モードに入ります。作成後は画面へのオン、オフをします。

背景色を選べます。

押すと枠付き文字になります。



文字を選択します。

ヘルプ画面をオン、オフします。

カーソル、文字を移動します。

修正するときやスペースを空けます。

偶数行の文字を倍角にします。

文字を決定します。

改行します。

クリアします。

8 4~6の手順を繰り返し、すべての文字が入力できたら、タイトルキーを押します。

通常のモードに戻ります。

- カーソルが点滅中はタイトル作成モードにあることを示します。
- 点滅している文字は入力されていません。

■タイトルの呼び出ししかた

1 再生中あるいはディスクトレイが開いているときにタイトルキーを押しますと、作成したタイトルが画面に呼び出されます。

2 タイトルキーをもう一度押しますと、タイトル画面表示が消えます。

- タイトル表示中はタイトルキーのインジケータは点灯しません。
- タイトル表示中はカーソルは点灯しません。
- ストップ時やスタンバイのときにタイトルキーを押しますとタイトル作成モードになり、カーソルが点滅します。

■ヘルプ機能について

タイトル作成中にプレイキーを押しますと、画面にキー機能が表示されます。キー機能が不明のときに押してください。

- プレイキーをもう一度押しますと、画面がタイトル作成モードに戻ります。

==KEY FUNCTION==

(-/+): (< / >)

(K/D): DEL / INS

(DSP): SIZE SEL

(+10): HALF BACK

(PGM): CHAR. SET

(EDT): NEW LINE

(-/+)キーでカーソル、キャラクターを移動

消去するときやスペースを空けます。

表示モードキーで偶数行の文字を倍角

+10キーで枠付き文字

プログラムキーで文字決定

エディットキーで改行

■タイトルの変更のしかた

- チャプター／トラックキーを使いますとカーソルが移動します。変更する文字をジョグダイヤルで選びプログラムキーを押します。
- 静止画／コマ送りキーを使いますと修正や文字間を空けることができます。
- クリアキーを押しますと、すべての文字を消去することができます。
- 本機の電源を切りますと作成したタイトルはすべてクリアされます。

故障かなと思ったら

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。そのうえで正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められました場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのYAMAHA電気音響製品サービス拠点へお問合せまたはサービスをご依頼ください。

LD、CDV、CD共通

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
電源が入らない	電源プラグがコンセントからはずれている	しっかり差し込んでください
再生が始まらない	ディスクがセットされていない	ディスクをセットしてください
ディスクトレイが出てきてしまう	ディスクがひどく汚れている	クリーニングしてください(→6ページ)
	ディスクが変形(そりなど)している	矯正すると変形が軽減されることがあります(→6ページ)
リモコンで操作できない	リモコンの電池が消耗している	電池を交換してください(→4ページ)
	リモコン操作の距離、角度が適切でない	7 m以内、30°以内で操作してください(→4ページ)
リモコンを操作するとテレビが誤動作する	ワイヤレスリモコン機能をもつテレビが本機のそばにテレビを使用している場合	テレビと本機を離してセットするかテレビのリモコン受光部におおいをしてください
ブーンというハム音が出る	接続コードのプラグの接続不良	接続コードのプラグをしっかり差し込みなおしてください
チューナーにノイズがはいる	本機とチューナーの設置場所が近い	チューナーから遠ざけるか、本機の電源を切ってください
キーがはたらかない	タイトル入力モードになっている	タイトルキーを押し、タイトル入力モードを解除してください
本体のテンキーがはたらかない	エフェクトモードになっている	エフェクトキーを押し、エフェクトモードを解除してください
チャプター／トラックの頭出しができない	ユーザーインデックスモードになっている	ユーザーインデックスサーチキーを押し、ユーザーインデックスモードを解除してください
サーチモード(ユーザーインデックスサーチ↔チャプター／トラックサーチ)が切り換わらない	プログラム再生またはランダム再生中である	プログラム再生またはランダム再生を解除してから、サーチモードを切り換えます
フレーム／タイムナンバーサーチができない	プログラム再生またはランダム再生中である	プログラム再生またはランダム再生を解除してください
エディットプログラムができない	TOCの記録されていないディスクを再生している。またはディスクの汚れ、キズなどでTOCが読み込まれない	TOCの記録されていないディスクではエディットプログラムはできません。TOCの記録されているディスクでは汚れ、キズが無いかチェックしてください

LD、20cm・30cmCDV、12cmCDVのビデオパート再生時

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
ディスクは回転しているが映像が出ない	テレビ(カラーモニター)の電源が切れている	テレビ(カラーモニター)の電源を入れてください
	接続が不完全	正しく接続し直してください(→8～9ページ)
	テレビのVHF入力を使用している場合 本機の送り出しチャンネルとテレビのチャンネルが合っていない ANTインジケータが点灯している	テレビのチャンネルを空チャンネル(1CH、2CHのうち放送のない方)にセットし、本機のCHANNEL切換スイッチをCH1、CH2にします(→8～9ページ) VHF切換キーを一回押して、ANTインジケータを消灯させます
	片面ディスクを裏がえしにセットしている	見たいレーベル面を上にしてセットしてください
テレビ番組(VHF放送)が映らない	VHFアンテナの接続が不完全	VHFアンテナを正しく接続し直してください(→8～9ページ)
	ANTインジケータが消灯している	VHF切換キーを一回押して、ANTインジケータを点灯させます
テレビ番組(UHF放送)が映らない	UHFアンテナを本機のANT IN端子に接続している	UHFアンテナは、直接テレビのUHF入力端子に接続してください(→8～9ページ)
テレビ番組の映りが悪い 画面にしま模様が入る	電波の弱い地域ではこのような症状が出る場合があります	テレビ番組を見るときは本機の電源を切ってください
画面が乱れる	ディスクが変形している(ソリなど)	矯正すると変形が軽減されることがあります(→6ページ)
画質が悪い	ディスクがひどく汚れている	クリーニングしてください(→6ページ)
	デジタルエフェクト画面になっている(モザイク、ペイント他)	クリアーキーを押し、エフェクト画面を解除してください
画面表示キーを押しても文字が出ない	文字がオールクリアされたタイトル画面が表示されている	タイトルキーを押し、通常の画面に戻します
	ディスプレイオフ機能がはたらいっている	ディスクトレイが開いているときに画面表示キーを押し、ディスプレイオフ機能を解除してください
再生画がでない	背景色の付いたタイトル画面が表示されている	タイトルキーを押し、通常の画面に戻します
	ピクチャーセーブされた画面が表示されている	ピクチャーセーブキーを押し、ピクチャーセーブを解除します
モザイクができない	マルチ画面になっている	マルチ画面のときにモザイクはできません。モザイクをクリアーキーを押し解除してください
スティルウィズサウンドができない	マルチスピード再生やスティル再生などをしている	ブレイキーを押し、通常の再生に戻してください
マルチ画面にならない	スティル再生をしている	ブレイキーを押し、スティル再生を解除してください
ピクチャーセーブの予約ができない	ディスクのオーディオパートを再生している。またポーズ状態で予約をしようとしている	画面に映像が出ていないときはピクチャーセーブの予約はできません

故障かなと思ったら

LD、20cm・30cmCDV再生時

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
音声が不自然に聞こえる	CX NRをONにするように指示されているディスクを再生している	ジャケットの指示に従ってCX NRをONにしてください(→20ページ)
チャプタースキップ チャプターサーチができない	チャプターナンバーが記録されていないディスクを再生している	リモコンの表示切換キーを押してチャプターナンバーが表示されるか確かめてください(→22ページ)
タイムナンバーサーチを行なうと、指定した画面と違う所を再生する	リモコンの表示切換キーを押して、タイムナンバーが「分」単位で記録されたディスクか、「秒」単位で記録されたディスクを確かめてください	タイムナンバーサーチ(→23ページ)を参照してください

12cmCDV、CD再生時

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
音が出ない	ディスクが裏がえしにセットされている	ディスクのレーベル面を上にしてセットしてください
	接続するテレビ、アンプのボリュームが絞ってある	テレビまたはアンプのボリュームを適当な音量に調節します
	音声入力端子付テレビを使用している場合	音声ケーブルの接続が不完全 音声ケーブルを正しく接続し直してください(→8～9ページ)
A-Bリピートができない	A、Bの2点がオーディオパートとビデオパートにまたがっている	A-Bリピート(→26ページ)を参照してください
プレイキーを押すとディスクの途中から再生が始まってしまう	CDVでは必ずビデオパートから再生がスタートします。	ディスクの最初から再生するときは、トラックキーでトラック1を指定してください。

ヤマハホットラインサービスネットワーク



ヤマハ ホットライン サービス ネットワークは、本機を末長く、安心してご愛用頂けるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

●保証期間

お買い上げ日より1年間です。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理によって製品の機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

●補修用性能部品の最低保有期間

当社はレーザービジョンプレーヤーの補修用性能部品を製造打切り後最低8年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのYAMAHA電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

(右欄サービス拠点の所在地と電話番号をご参照ください。)

●症状は詳しく

サービスをご依頼なさるときは、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また**製品の品名、製造番号**などもあわせてお知らせください。
※品名、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

■YAMAHA電気音響製品サービス拠点

(電気音響製品の修理受付および修理品お預かり窓口)

北海道	〒064 札幌市中央区南10条西1-4 ヤマハセンター内 TEL(011)513-5036
仙台	〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL(022)236-0249
東京	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL(044)434-3100
新潟	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F TEL(025)243-4321
浜松	〒435 浜松市上西町911番地 ヤマハ宮竹工場内 TEL(0534)65-6711
名古屋	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ名古屋流通センター3F TEL(052)652-2230
大阪	〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内 TEL(06)877-5262
四国	〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ高松店内 TEL(0878)22-3045
広島	〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39 TEL(082)874-3787
九州	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL(092)472-2134

■お客様ご相談窓口

北海道	〒064 札幌市中央区南10条西1-4 ヤマハセンター内 北海道営業所 TEL(011)512-6115
仙台	〒980 仙台市大町2-2-10 住友生命仙台青葉台通ビル4F 東北営業所 TEL(022)223-3101
東京	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F 特販営業所 TEL(03)255-1825 首都圏第一営業所 TEL(03)255-5691 首都圏第二営業所 TEL(03)255-5691 神田営業所 TEL(03)255-6767 販売二課 TEL(03)255-2302
新潟	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル 北関東営業所 TEL(025)241-2084
千葉	〒260 千葉市千葉港2-1 千葉コミュニティセンター1F 千葉営業所 TEL(0472)47-6622
神奈川	〒211 川崎市中原区木月1184 ヤマハ日吉センター内 神奈川営業所 TEL(044)434-4871
浜松	〒433 浜松市幸3-5-8 ヤマハ四ッ池センター内 浜松営業所 TEL(0534)71-1207
名古屋	〒464 名古屋市千種区東山通5-65 ヤマハ東山センター内 中部営業所 TEL(052)782-7551 販売二課 TEL(052)782-7551
大阪	〒556 大阪市浪速区敷津東1-9-16 ヤマハなんばセンター内 関西営業所 TEL(06)647-6411 日本橋営業所 TEL(06)647-6411 中央営業所 TEL(06)647-6411 販売二課 TEL(06)647-6411
広島	〒730 広島市中区紙屋町1-1-20 いぎん広島ビル内 中国営業所 TEL(082)244-3745
九州	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 九州営業所 TEL(092)472-2131
本社	〒430 浜松市中沢町10-1 ホームエレクトロニクス事業本部 お客様ご相談センター TEL(0534)60-3421

ヤマハ株式会社

〒430 浜松市中沢町10-1

ホームエレクトロニクス事業本部

国内販売統括部 TEL.(0534)60-3421

生産管理部サービス技術課 TEL.(0534)60-3405

住所および電話番号は変更になる場合があります。